

目 次

第 1 章 結 言	1
第 2 章 問題作成の目的と意義	3
2. 1. 問題作成の目的	3
2. 2. 問題作成の意義	3
第 3 章 問題作成の計画と経過	4
3. 1. 問題作成の計画	4
3. 1. 1. 問題作成の立場	4
3. 1. 2. 問題作成の留意点	4
3. 1. 3. 問題作成の組織	5
3. 2. 問題作成の経過概要	7
第 4 章 問 題 の 作 成	8
4. 1. 基 礎 調 査	8
4. 2. 問題作成委員会の開催と試作問題数	8
4. 3. 予備テストの実施	9
4. 3. 1. 第一次予備テストテスト	9
4. 3. 2. 第二次予備テスト	11
4. 3. 3. 第三次予備テスト及び第四次予備テスト	13
4. 4. でき上った問題	15
4. 4. 1. 問題数と検査時間	15
4. 4. 2. 検査問題の内容	15
4. 4. 3. でき上った問題	24
4. 4. 4. 正 答 表	91
第 5 章 標本調査設計	96
5. 1. 標本抽出の方法	96
5. 2. 標本児童生徒数の決定	96
5. 3. 母平均の推定と標本割当	96
5. 4. 学校の層別と抽出	99

第6章 標準化	104
6. 1. 本テストの実施	104
6. 2. 品等基準	110
6. 2. 1. 偏差値パーセンタイル基準	111
6. 2. 2. 五段階品等基準	115
第7章 結果の記述	116
7. 1. 抽出の検定	116
7. 1. 1. 抽出の精度	116
7. 1. 2. 標本の検定	116
7. 2. テストの妥当性適応性信頼性	117
7. 2. 1. テストの妥当性	117
7. 2. 2. テストの適応性	121
7. 2. 3. テストの信頼性	123
7. 3. 全県の成績	124
7. 3. 1. 全県平均と平均通過率	124
7. 3. 2. 全県の得点分布	125
7. 4. 地域別と学力との関係	127
7. 4. 1. 第一次層間の平均と平均通過率	127
7. 4. 2. 市町村別平均と平均通過率	130
7. 4. 3. 市町村別得点分布	135
7. 5. 性別と学力との関係	137
7. 6. 保護者の産業と学力との関係	138
7. 7. 計算と理解応用との相関関係	144
7. 8. 問題の難易度	146
7. 8. 1. 全県及び市町村別正答率	146
7. 8. 2. 市町村間の正答率の差の大きかった問題	151
7. 8. 3. 未学習の学校のあつた問題	155
7. 8. 4. 正答率の低かつた問題と問題点	161
第8章 テストの利用について	170
8. 1. 全県及び市町村別平均の利用	170

8. 2. 偏差値, パーセンタイルの早見表及び五段階品等基準の利用	170
8. 3. 得点度数分布表の利用	170
8. 4. 正答率表の利用	171
8. 5. 担任教師による算数数学評価とテスト得点との相関表の利用	171
8. 6. 上位群, 下位群正答率表(小学校1年用, 2年用)の利用	172
8. 7. 計算と理解応用の相関表の利用	172
第 9 章 結 び	173

第 1 章 緒 言

本教育研究所では、さきに、研究紀要第二集「算数 数学 学力検査」(小学校 4, 5, 6 年及び中学校 3 年各学年別用)および、第六集「算数学力検査」(小学校 4, 5, 6 年共通用)を発表した。このたび、その後、作成された小学校 1 年, 2 年, 3 年および、中学校 1 年, 2 年, 各学年別学力検査を実際に用い、あるいは、研究されておられる現場の教師の方々のために、その参考資料として、これらの学力検査が作成された経過や、標準化の際における全県の学力実態および、それらに関連する教育上の諸問題を検討して、その結果をここに発表する。これにより、本県においては、一応、小学校 1 年より中学 3 年までの算数 数学学力検査の紀要が完成されたわけである。これらの学力検査を実際に利用する場合、所謂、教師作成の学力検査と、標準学力検査の機能の相違、および、その関係や、この標準学力検査の性格を明確に把握しておく必要がある。それで、以下においては、この二点、および、この学力検査を使用するについての時期的な注意についてのべたい。まず、標準学力検査と教師作成の学力検査の関係を結論的にいうならば、つぎのようにのべることができる。

「この両者は、それぞれ独自の機能をもっており、その機能は、互に相補い合つて、学力検査の目的が全うされる。」

たとえば、学習過程における検査や、各単元の終りにおける検査は標準学力検査ではできない。この場合は、その学級、その生徒、その地域、その教師に即して個性的に進められた学習の成果を、その場に即して検査しようというのであるから、年に一回しか用いられないこの標準学力検査は内容的、時期的にも適切でないことになる。しかし、教師作成の学力検査には基準が設定されていないので、全県的な学力水準と比較して、学校や、学級、あるいは、児童生徒の学力を位置づけることにより、その欠陥と長所を客観的に明らかにすることはできない。たとえば、教師作成学力検査の一問題について、ある学級の正答率が 60% であつたとしても、その成績が、どの程度の学力を示しているか判定することができない。しかし、もし、標準学力検査問題のある一問題につ

いて、その学級の正答率が 60% であつたとし、その問題の全県正答率が 30% であつたとしたら、全県正答率に比較してその学級のその問題についての力は高いとみることができるわけである。

このようなことは、標準学力検査によつて、計算及び理解応用それぞれの学力についても考えることができる。客観的な基準にてらして、学校や、学級、あるいは、児童生徒の学力の実態を明らかにすることは、指導法の反省や、カリキュラムの改善には是非必要なことである。また、一年、二年等長期にわたつての学力進歩の順調度を明らかにしようとする場合、教師作成の学力検査は、その用をなさない。

このようにして、教師作成の学力検査と、標準学力検査、はそれぞれ、機能を異にしており、この両者は互に相補つて、学力検査の目的が完うされ则认为ることができる。つぎに、ここに作成された学年別学力検査は、さきに発表された学年別学力検査と同様に、各学年末における学習効果を概括的に把握する概観テストと、欠陥や長所を明らかにしようとする診断テストの性格を同時に持つように問題構成上留意されて作成された。この学力検査におけるこの二つの性格は、この研究紀要の各章における記述を利用することによつて、教育実践に充分生かしていくことができるものと考えられるから、これにより、より効果的な教育実践が進められることを期待したい。

なお、これらの学力検査は、みな同じ年度に計画され、同じ時期に標準化されたものではない。小学校 1 年用、2 年用は、昭和 28 年 4 月下旬全県で標準化され、小学校 3 年用及び中学 1 年用、2 年用は、昭和 27 年 3 月上旬全県で標準化されたものである。この標準化の時期より明らかなように、これらの学力検査は、いずれも学年末に当がい学年用のものを用いるか、学年始めに、前学年用のものを用いるのが適当となる。

なお、この紀要では、頁数が限定されたため、種々の点において、その主要な点のみを記述することにした。

第 2 章 問題作成の目的と意義

2.1. 問題作成の目的

この学力検査作成の目的は、つぎの二つである。

- (1) 本県小学校 1 年、2 年、3 年及び中学校 1 年、2 年児童生徒の算数数学学力を客観的に評価し、その結果を指導に役立てるための資料を提供すること。
- (2) 本県教育課程基準案作成の基礎資料をうること。

2.2. 問題作成の意義

この小学校 1 年、2 年、3 年及び中学校 1 年、2 年学力検査は、第 1 章で述べたように、その学年における学年末の学習効果を概括的に把握する概観テストと、欠陥や長所の所在を明らかにする診断テストの性格をかねそなえているので、この検査を学習指導に関係して使用する場合、具体的には、つぎのような意義をもつ。

- (1) 客観的に、個々の児童生徒、あるいわ、学級、学校の学力の程度を診断することができる。したがって、指導方針樹立のための客観的基礎を提供してくれる。
- (2) 知能テストと併用することによつて、個々の児童生徒がその可能性だけの学力をあげているかどうかを明らかにすることができる。
- (3) また、学級や学校全体として、妥当な学力水準を成就し得ているかどうかを反省させ、学力の一定のスタンダードを維持させるための指針となる。
- (4) 学級全体としての学力のバランス状態を明らかにし、とくに努力しなくてはならない方面を指摘し、カリキュラムや指導法の改善の資料を提供する。

第 3 章 問題作成の計画と経過

ここでは問題作成の計画と経過の概要を明らかにしたい。

3.1. 問題作成の計画

目的添う学力検査問題を作成するための作成計画の概要をのべよう。作成計画として考えられることは、作成の立場、留意点、組織、方法、結果の処理等であるが、ここでは、そのうち、作成の立場、留意点、組織についてその概要をのべ、方法、結果の処理については、以下の章において順次明らかにしていきたい。

3.1.1. 問題作成の立場

問題作成の基本的立場はつぎのようである。

- (1) 各学年における望ましい学習到達目標設定は、文部省小学校学習指導要領算数科編（昭和26年改訂版）および、中学校、高等学校学習指導要領数学科編（昭和26年改訂版）による。
- (2) 小学校3年及び中学校1年、2年ではペーパーテストで可能な範囲についての学力のうち、特に計算と理解応用の二面をみるものとし、小学校1年および2年では、算数の総合的な力をみるものにする。特に小学校2年では予備テストの結果からこれを計算と理解応用にわけないものとした。
- (3) 学力検査の平均的困難度は、各学年、全県について、凡そ、45%～55%を目安にする。
- (4) 全県基準として、偏差値基準、パーセンタイル基準、五段階品等基準を設定する。

3.1.2. 問題作成上の留意点

問題作成については、学力検査の条件として、妥当性、信頼性、適応性、客

観性、効率等が考えられなくてはならない。そのために、問題作成上留意した主な点をあげれば、つぎのようになる。

- (1) 概観テストとして、その学年の学年末における学力を概括的に評価しう
るためには、その学年でおさえなくてはならない主要素がおさえられるよ
うに問題が構成されなくてはならない。このために、学習指導要領や、各
種検定教科等について、要素分析をし、各要素に応ずるように問題構成を
考えること。
- (2) 学力検査は、学習効果を測定するものであるから、学習した知識、技能
がなくては解決されないものでなくてはならないこと。
- (3) 問題は全体として、平均通過率10%~90%程度に分布するようにして、
児童生徒の能力を充分に弁別できるようにするとともに、得点分布曲線も
一方に偏りすぎることのないように留意すること。
- (4) 不明瞭な問題や、まぐれあたりの入る確率の大きい問題をさけること。
- (5) 答に段階ができたり、問題相互に関連があつて、各問題が独立していな
いような問題はさけること。
- (6) 文章や発表形式は、できるだけ容易にして、読解力、その他の影響のた
めに、できなくなるようなことのないようにすること。
- (7) 児童生徒の疲労の程度を考慮して、全体としての検査時間、問題数、実
施方法等も考えること。
- (8) 採点者の主観によつて採点が行われるようなことのないようにするこ
と。
- (9) 教科書通りのものはよくないこと。

3.1.3. 問題作成の組織

この学力検査は主として、当教育研究所の事業担当責任者によつてすすめら
れたが、計画原案に対する審議や検査問題作成などの重要な段階では、多くの
人々の協力を得た。

また、全所員は、問題作成の過程、標準化のための本テストの実施、および
結果の審議など、調査のすべての過程に参加した。

問題作成の組織はつぎの通りである。ただし、問題作成委員の学校名は問題作成委員会開催当時のものである。

(1) 問題作成委員

(i) 小学校1年用, 2年用問題作成委員

羽 二 生 恵太郎 (新潟大学附属新潟小学校教諭)

山 田 恒 義 (新潟大学附属長岡小学校教諭)

片 桐 安 治 (新潟大学附属高田小学校教諭)

土 屋 栄 三 (新潟市立新潟小学校教諭)

笹 林 定 栄 (中蒲原郡金津小学校教諭)

阿 部 リ ヤ (西蒲原郡大野小学校教諭)

(ii) 小学校3年用, 中学1年用, 2年用問題作成委員

この学力検査作成の場合は、同時に、小学校4, 5, 6年共通用学力検査が作成された。これらの問題原案を作成した問題作成委員はつぎの通りである。

○印は、小学校3年、および、中学校1年, 2年学力検査問題作成委員

○田 卷 良 一 (新潟中央高等学校教諭)

○市 原 キ ヨ (新潟大学附属新潟中学校教諭)

○羽 二 生 恵太郎 (新潟大学附属新潟小学校教諭)

○水 沢 宗 一 (新潟大学附属長岡中学校教諭)

山 田 恒 義 (新潟大学附属長岡小学校教諭)

○貝 瀬 範 一 (新潟大学附属高田中学校教諭)

竹 沢 正 次 (新潟大学附属高田小学校教諭)

○石 山 友 衛 (中蒲原郡茨曾根小学校長)

土 屋 栄 三 (新潟市立新潟小学校教諭)

北 島 恒 次 (高田市立大手町小学校教諭)

(2) 所内で討議にあつたもの

板谷 越陽吉 吉 田 芳 雄 小 島 甚 作

武 藤 惇 北 原 戊 平 牧 田 利 平

長谷川 敏雄 日 浦 儀 一 郎 小 竹 省 三

(3) 事業担当責任者

小 島 甚 作 武 藤 惇

(4) 報告書執筆者

武 藤 惇

3.2. 問題作成の経過概要

問題作成の経過の概要はつぎのようになる。

小学校3年用及び中学校1年用、2年用学力検査は、昭和26年4月作成計画が立案され、基礎研究、問題作成委員会開備および、第一次、第二次、第三次予備テストを経て、昭和27年3月上旬全県で標準化された。小学校1年用、2年用学力検査は、昭和27年4月作成計画が立案され同様の手順によつて、昭和28年4月下旬全県で標準化された。

第4章 問題の作成

4.1. 基礎調査

この学力検査を作成するにあたって基礎調査として、つぎのことがなされた。

- テストに関する理論的研究。
- 学習指導要領による要素分析と、各種検定教科等の分析研究。
- テストに関する資料蒐集。

4.2. 問題作成委員会の開催と試作問題数

基礎調査の結果にもとづいて、二回の問題作成委員会を開催し、予備テストのための試作問題を決定した。

第一回問題作成委員会では、問題作成の基本方針と問題の作成について討議した。

第二回問題作成委員会では、各委員から発送された試作問題を整理分類し、不足分を補充して、いろいろの角度から、その問題を吟味検討して、第一次予備テスト問題原案を作成した。でき上った試作問題は頁数がないために省略するが、問題数はつぎの通りである。

第4.1表 第一次予備テスト問題数

(イ) 小学校1年

さんすうのおけいこ その1	その2	その3	合 計
16	20	18	54

(ロ) 小学校2年

計 算				理 解 応 用		
よ せ 算	ひ き 算	そ の 他	合 計	そ の 1	そ の 2	合 計
34	32	8	74	19	15	34

ハ 小学校3年

計			算			理解応用
よせ算	ひき算	かけ算	わり算	その他	計	
21	21	12	10	6	70	34

ニ 中学校1年, 2年

学年別	問題別	計 算		理 解 応 用
1	年	50	42	
2	年	67	44	

4.3 予備テストの実施

4.3.1. 第一次予備テスト

- (イ) 目 的
- ・個々の問題の難易度を明らかにする。
 - ・既習, 未習の問題及び検査時間を検討する。
 - ・用語, 問題内容形式について, その理解度をたしかめる。

(ロ) 実 施

第一次予備テスト実施には, 手引き書を作成し, 所員が学校に出向いて打合せをして実施条件をそろえるようにした。

- ・小学校1年, 2年用

日 時 昭和28. 2. 10~12

場 所 新 潟 市 湊小学校
中蒲原郡亀田町 早通小学校
南蒲原郡大崎村 大崎小学校

被験者 各学年学校毎に凡そ50名ずつ, 計各学年凡そ150名

- ・小学校3年用

日 時 昭和26. 10. 下旬

場 所 新 潟 市 東山ノ下小学校
新 潟 市 笹口小学校

西蒲原郡 粟生津小学校

被験者 各学年毎に凡そ50名, 計各学年凡そ150名

・中学校1年, 2年用

日 時 昭和26. 10. 下旬

場 所 新潟市 鳥屋野中学校

新潟市 東新潟中学校

新潟市 大形中学校

被験者 各学年学校毎に凡そ50名, 計各学年凡そ150名

(イ) 結 果

第一予備テストについて三カ校全体の結果はつぎの通りである。

第 4.2 表 第一次予備テストの結果

(イ) 小学校1年用

被検者数	そ の 1		そ の 2		そ の 3		合 計	
	平 均	%	平 均	%	平 均	%	平 均	%
164	10.3	64.4	14.2	71.0	10.6	58.9	35.1	65.0

(ロ) 小学校2年用

被検者数	計 算								理 解 応 用					
	加 法		減 法		そ の 他		計		そ の 1		そ の 2		計	
	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%
145	27.2	80.0	24.0	75.0	5.0	62.5	56.2	75.9	11.6	77.9	9.7	48.5	21.3	62.6

(ハ) 小学校3年用

被検者数	計 算								理 解 応 用					
	加 法		減 法		乗 法		除 法		そ の 他		計		平均	
	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%		
136	15.9	75.7	14.4	68.5	10.0	83.3	7.3	73.0	3.7	61.7	51	73	19	56

㊦ 中学校 1 年, 2 年

学 年	計 算			理 解 応 用		
	被検者数	平 均	%	被検者数	平 均	%
1 年	164	28	56	161	15	36
2 年	166	26	39	166	14	32

以上の結果と、得点分布および、各問題について既習、未習と正答率を検討の上、小学校 1 年用は、全体として容易すぎることを。小学校 2 年用では、計算が容易であること。小学校 3 年用では、計算がまだ容易すぎることを。中学校 1 年用では、理解応用が困難すぎることを。中学校 2 年用では、計算、理解応用とも困難であることを目安がえられたので、各問題について修正を行い、第二次予備テスト問題を作成したが、問題の掲載は省略して、実施校と、その結果についてのみ記述すると、つぎのようになる。

4.3.2. 第二次予備テスト

(イ) 目 的 ・第一次予備テストと同様の事項。

・テストの妥当性、信頼性、適応性の検討。

(ロ) 実 施 ・小学校 1 年用, 2 年用

日 時 昭和 28. 3. 5~7

場 所 中蒲原郡 亀田小学校

中蒲原郡 大淵小学校

三 島 郡 大河津小学校

被検者 各学年各学校凡そ 50 名ずつ、計各学年凡そ 150 名

・小学校 3 年用

日 時 昭和 26. 12. 上旬

場 所 新 潟 市 浜浦小学校

西蒲原郡 月潟小学校

北蒲原郡 木崎小学校

被検者 各学校凡そ 50 名、計凡そ 150 名

・中学校1年, 2年用

日 時 昭和26. 12. 上旬

場 所 新潟市 宮浦中学校

西蒲原郡 岩室中学校

北蒲原郡 木崎中学校

被験者 各学年各学校凡そ50名, 計各学年凡そ150名

ハ 結 果

第二次予備テストについて三カ校全体の結果はつぎのようである。

第4.3表 第二次予備テストの結果

(イ) 小学校1年用

被 検 者 数	そ の 1		そ の 2		合 計	
	平 均	%	平 均	%	平 均	%
164	13.0	59.1	8.6	45.3	21.8	53.1

○その1 22点, その2 19点, 計 41点満点

(ロ) 小学校2年用

被 検 者 数	計 算								理 解 応 用					
	よ せ 算		ひ き 算		そ の 他		計		そ の 1		そ の 2		計	
	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%	平均	%
141	20.3	81.2	20.9	82.7	5.5	55.0	46.6	77.7	8.8	55.0	8.6	61.4	17.4	58.0

○よせ算, ひき算各 25点, その他 10点, 計 60満点

○その1 16点, その2 14点, 計 30点満点

ハ 小学校3年用

被 検 者 数	計 算		理 解 応 用	
	平 均	%	平 均	%
159	30.7	61.0	12.0	50.0

○計算 50点, 理解応用 24点満点

㊦ 中学校1年用, 2年用

学 年	計 算			理 解 応 用		
	被検者数	平 均	%	被検者数	平 均	%
1 年	143	16.5	41	143	11.2	34
2 年	156	16.3	40	145	11.9	36

○計算 40点, 理解応用 33点満点

以上の結果と, 得点分布曲線の型及び信頼度係数および, 担任教師の評価とテスト得点との相関係数の算出によつて, 全体的な検討を行うとともに, 個々の問題については既習, 未習の状態, 内容, 形式についての理解度及び, 上位群, 下位群分析を行つて検討した。

その結果, 特に, 小学校2年用では, 計算と理解応用にわけて学力検査を作成することが, 極めて困難であることが明らかにされたので, 計算と理解応用にわけないで, 小学校1年と同様に算数の総合的な学力をみるものにするように問題構成を変更することにした。

また, 中学校では1年, 2年共, 計算, 理解応用いずれも, まだ困難度の高いことが明らかになったので, この点を修正することにした。各学年とも修正を行つて第三次予備テスト問題を作成したが問題の掲載はここでは省略する。

4.3.3. 第三次予備テスト及び第四次予備テスト

(㊦) 目 的 (第三次予備テスト)

- ・第二次予備テストと同様の事項。
- ・第二次予備テストと第三次予備テストについて, 平均通過率の比較。

(㊦) 実 施 ・小学校1年, 2年用

日 時 昭和28. 3. 17

場 所 中蒲原郡 亀田小学校

中蒲原郡 丸山小学校

被検者 各学年計凡そ150名

- ・小学校3年用

日 時 昭和27. 2. 10~15

場 所 西蒲原郡 矢作小学校

中蒲原郡 横越小学校

被検者 計凡そ100名

・中学校1年用, 2年用

日 時 昭和27. 2. 10~15

場 所 西蒲原郡 弥彦中学校

中蒲原郡 横越中学校

・被検者 各学年凡そ計100名

(ウ) 結 果

第4.4表 第三次予備テストの結果

(イ) 小学校1年用, 2年用

学 年	被検者数	そ の 1		そ の 2		合 計	
		平 均	%	平 均	%	平 均	%
1 年	164	10.5	53.4	10.3	51.6	21.1	52.8
2 年	166	8.2	35.8	8.3	38.0	17.1	38.5

(ロ) 小学校3年用

計 算			理 解 応 用		
被検者数	平 均	%	被検者数	平 均	%
106	22.2	44.4	106	7.6	31.7

(ハ) 中学校1年用, 2年用

学 年	計 算			理 解 応 用		
	被検者数	平 均	%	被検者数	平 均	%
1 年	111	18.6	46.5	111	10.6	32.1
2 年	108	12.7	32.0	108	9.1	27.6

以上の結果, 各学年ともなお検討すべき点が考えられたので若干の修正を行った。殊に小学校2年用では問題構成方針を途中で変更したため, 更に第四次

予備テストに中蒲原郡酒屋小学校と、西蒲原郡和納小学校で実施し、最終的な修正を行った。

(二) 小学校2年用第四次予備テスト結果

第4.5表 小学校2年用第四次予備テストの結果

被検者数	そ の 1		そ の 2		合 計	
	平 均	%	平 均	%	平 均	%
102	13.8	60.1	13.1	59.4	26.9	59.7

4.4 でき上った問題

4.4.1 問題数と検査時間

でき上った検査問題の問題数と検査時間はつぎの通りである。

第4.6表 でき上った問題の問題数と検査時間

問題別 検査時間	小学校1年		" 2 年		" 3 年					
					計 算				理解応用	
	その1	その2	その1	その2					その1	その2
					よせ算	ひき算	かけ算とわり算	その他		
問題数	20	19	23	22	12	12	20	6	12	12
検査時間	16分	16分	22分	22分	6分	6分	10分	4分	15分	15分

<div>学 年 別</div> <div>問 題 数</div> <div>問 題 別</div> <div>検査時間</div>	中 学 校 1 年		" 2 年	
	計 算	理解応用	計 算	理解応用
問 題 数	40	30	40	30
検 査 時 間	45分	50分	45分	50分

4.4.2 検査問題の内容

でき上った検査問題の内容はつぎの通りである。

第 4.7 表 でき上った問題の内容

(イ) 小学校 1 年用

問題 番号	問 題 内 容	問題 番号	問 題 内 容
1	(数 観 念) 20以下のものの数え方 (一列にならんだもの)	14	(問題解決) 位置関係の理解
2	(問題解決) 加法の素地	15い	(計 量) 時計の見方 (10時)
3	(位置関係) 位置を知るための数え 方	15ろ	(計 量) 時計の見方 (12時)
4	(問題解決) 数の大小理解	16	(数 観 念) 数え方と数の大小の理 解
5	(数 観 念) 数の大小理解	17	(空間観念) 正方形, 三角形, 長方 形, 円の理解
6	(数 観 念) 2つずつまとめてかぞ える数え方	18	(数 観 念) 100以下のものの数え方 (規則正しく ならんだもの)
7	(分数観念) はんぶんのはんぶん	19	(問題解決) 加法の素地
8い	(数 観 念) 基数の合成 (線りなし)	20	(方 位) 西の理解
8ろ	(数 観 念) 基数の合成 (和が10となる)	21	(図 表) ○, ×, を用いた図表の 見方
8は	(数 観 念) 基数の合成 (線りあり)	22	(問題解決) 加法の素地 (累加)
8に	(数 観 念) 何十と基数の合成	23	(数 観 念) 数の大小理解
8ほ	(数 観 念) 二位数について位取り の原理の理解	24い	(実 務) おかねのかんじよう
9	(問題解決) 等分除の素地	24ろ	(実 務) おかねのかんじよう
10い	(数 観 念) 数系列の理解 (1ずつ減少するもの)	25い	(数 観 念) 数の分解 (基数の分解)
10ろ	(数 観 念) 数系列の理解 (5ずつ増加するもの)	25ろ	(数 観 念) 数の分解 (基数の分解)
10は	(数 観 念) 数系列の理解 (10ずつ減少するもの)	25は	(数 観 念) 数の分解 (二位数の分解)
10に	(数 観 念) 数系列の理解 (2ずつ増加するもの)	25に	(数 観 念) 数の分解 (基数の分解)
11	(数 観 念) 50以下のものの数え方 (不規則にならんだもの)	25ほ	(数 観 念) 数の分解 (二位数を何 十と基数に分解)
12	(問題解決) 乗法の素地 (2ばい)	26	(問題解決) 包含除の素地
13	(問題解決) 減法の素地		

(四) 小学校2年用

問題 番号	問 題 内 容	問題 番号	問 題 内 容
1い	一位数に一位数を加える (繰上る) (横式)	17い	二位数から一位数をひく (繰下りあり) (横式)
1ろ	一位数に一位数を加える (繰上る) (横式)	17ろ	二位数から一位数をひく (繰下りあり) (縦式)
1は	二位数に二位数を加える (繰上りなし) (横式)	17は	二位数から二位数をひく (繰下りなし) (縦式)
1に	二位数に二位数を加える (繰上つたために繰上る) (縦式)	17に	二位数から二位数をひく (繰下りあり) (縦式)
1ほ	二位数に二位数を加える (二桁繰上る) (縦式)	17ほ	100から二位数をひく (縦式)
1へ	二位数を三つ加える	17へ	被減数(二位数)と差(一位数)を 知って減数を求める(縦式)
1と	二位数と一位数の加減	17と	減数(一位数)と差(一位数)を知 って被減数を求める(横式)
2	(問題解決) 加法一段階	18	(問題解決) 加法一段階
3	(図 表) ○を用いた図表のかき 方	19	(空間観念) 正方形, 三角形, 長方 形, 円の理解
4	(問題解決) 減法一段階	20	(表) 二次元の表の見方
5い	(実 務) おかねのかぞえ方 (5円のものの累加)	21	(分類観念) 分の理解
5ろ	(実 務) おかねのかぞえ方	22	(問題解決) 減法一段階
6	(問題解決) 包含除の理解	23	(数 観 念) 位取りの原理の理解
7	(計 量) 日数計算の理解	24い	(数 観 念) 数系列の理解 (三位数について2ず つ減少する数列)
8	(数 観 念 と 記 号) 数の合成と記号の理解	24ろ	(数 観 念) 数系列の理解 (三位数について10ず つ減少する数列)
9	(計 量) ものさしの目盛のよみ 方	25	(計 量) 時計の見方(2時30分)
10	(数 観 念) 記数法の理解	26	(問題解決) 加減二段階
11	(計 量) 時間計算	27い	(計 量) 年を月に換算
12	(空間観念) 長方形のたての長さの 理解	27ろ	(計 量) 何m何cmをcmに換算
13	(位置関係) 配置されているものの 位置関係の理解	28	(計 量) 日数計算
14	(問題解決) 乗法の素地 (2ばい)	29	(方 位) 南の理解
15	(問題解決) 加減二段階 または減減二段階	30	(問題解決) 加法二段階
16	(分数観念) $\frac{1}{4}$ の理解		

ハ) 小学校3年用

計 算 問 題

Ⅰ よ せ ざ ん		Ⅱ ひ き ざ ん	
問題 番号	問 題 内 容	問題 番号	問 題 内 容
1	一位数に一位数を加える (繰上りあり, 横式)	1	二位数から一位数をひく (繰下りあり, 横式)
2	二位数に二位数を加える (繰上りなし, 横式)	2	三位数から三位数をひく (繰下りなし, 縦式)
3	二位数に二位数を加えて100となる (繰上つたために繰上る, 縦式)	3	二位数から二位数をひく (一桁繰下る, 横式)
4	三位数に三位数を加える (二桁繰上る, 縦式)	4	三位数から二位数をひく (二桁繰下り三位数となる, 縦式)
5	三位数に三位数を加える (二桁繰上り十位が0となる, 縦式)	5	三位数から三位数をひく (二桁繰下る, 縦式)
6	二位数に一位数を加える (一桁繰上る, 横式)	6	何百何十から何百何十をひく (一桁繰下る, 縦式)
7	二位数に二位数を加える (二桁繰上る, 横式)	7	四位数から四位数をひく (三桁繰下り三位数となる, 縦式)
8	三位数以下の累加(位取りの理解) (繰上りなし, 横式)	8	何百から二位数をひく (二桁繰下り三位数となる, 縦式)
9	四位数に四位数を加える (三桁繰上る, 縦式)	9	三位数以下の累減 (繰下りあり, 横式)
10	三位数以下の累加 (二桁繰上る, 縦式)	10	千から三位数をひく (三桁繰下る, 縦式)
11	諸等数(時間)のよせざん (繰上りなし, 横式)	11	諸等数(時間)のひき算 (繰下りなし, 横式)
12	帯小数(名数cm)のよせ算 (繰上りなし, 横式)	12	帯小数(名数l)のひき算 (繰下りなし, 横式)

Ⅲ かけざんとわりざん

問題 番号	問 題 内 容	問題 番号	問 題 内 容
1	一位数に一位数をかける (横式)	11	0を基数でわる
2	一位数に一位数をかける (横式)	12	何十が十の何倍かを求める
3	一位数に一位数をかける (縦式)	13	二位数を一位数でわる (わりきれぬ)
4	一位数の累加数(二位数)を知つていくつ累加したかを求める	14	二位数(名数m)が一位数(名数n)の何倍かを求める、(商が一位でわりきれぬ) (包含除)
5	一位数の累加数を求める	15	一位数を一位数でわる (商が1となる)
6	一位数の倍数(二位数)を知つて何倍かを求める	16	千に一位数をかける
7	二位数を一位数でわる (わりきれぬ)	17	十に十をかける (縦式)
8	一位数に0をかける	18	二位数の基数倍を求める (繰上りなし)
9	一位数の2倍を求める	19	二位数の基数倍を求める (繰上りあり)
10	二位数が一位数の何倍かを求める (わりきれぬ)	20	二位数(名数円)が一位数(名数円)の何倍かを求める、(商が二位でわりきれぬ) (包含除)

Ⅳ そ の 他		
問 題 番 号	問 題 内 容	
1イ	減数（一位数）と差（一位数）を知つて被減数を求める（横式）	
1ロ	二数（基数）とその結果を知つて演算記号を求める（横式）	
1ハ	被除数（二位数）と商（一位数）を知つて除数を求める（横式）	
1ニ	一位数の累加（基数倍）をかけ算になおす（かけ算の意味の理解）	
1ホ	単分分数の累加を求める（真分数となる、分数の理解）	
2	ひき算の検算	

理 解 応 用

問題番号	問 題 内 容	問題番号	問 題 内 容
1	（問題解決）減法一段階（のこりを求める）	12	（問題解決）加減二段階
2	（問題解決）加法一段階（和を求める）	13	（空間観念）直角の理解
3	（問題解決）乗法一段階（倍数を求める）	14	（問題解決）除法一段階（等分除）
4	（数 表）二次元の表の見方	15	（図 表）棒グラフのかき方
5	（計 量）温度計の見方（一度目盛）	16	（問題解決）複雑な問題（乗加減）
6	（実 務）お金の勘定	17	（問題解決）減法一段階
7	（方 位）四方位の理解	18	（量 観 念）日数計算
8イ	（量 観 念）日を時間に換算	19	（量 観 念）km, cm, mmの理解
8ロ	（量 観 念）何円何銭を何円に換算	20	（量 観 念）時計のみ方（4時30分）
9	（量 観 念）時間計算	21	（分数観念）4分の1の理解
10	（分数観念）或る量の何分の1を求める（わりぎれる）	22	（量 観 念）直径と半径の理解
11	（計 量）はかりのみ方（何 kg と何 g）	23	（問題解決）乗法一段階の立式

(ハ) 中学校1年用

計 算 問 題

問題 番号	問 題 内 容	問題 番号	問 題 内 容
1 (1)	整数の加法 (四位数に四位数を加える)	4 (1)	整数の除法 (四位数を二位数でわる, 商二位)
1 (2)	分数の加法 (同分母真分数の加法)	4 (2)	分数の除法 (真分数を整数でわる, 約分なし)
1 (3)	整数の加法 (四位数の累加)	4 (3)	整数の除法 (五位数を三位数でわる, 商三位)
1 (4)	諸等数(時間)の加法 (繰上る)	4 (4)	分数の除法(真分数を真分数でわる, 約分なし, 繰上りなし)
1 (5)	分数の加法(異分母帯分数の加法, 繰上りなし, 約分なし)	4 (5)	分数の除法 (帯分数を真分数でわる)
2 (1)	分数の減法 (異分母真分数の減法, 約分なし)	4 (6)	小数の除法 (帯小数を小数でわる, わりきれぬ)
2 (2)	整数の減法 (位の異つた数の累減)	4 (7)	小数の除法 (小数第二位を四捨五入する)
2 (3)	整数の減法 (四位数から四位数をひく)	4 (8)	諸等数(時間)の除法(諸等数を整数でわる, 繰下りあり)
2 (4)	小数の減法 (末位のそろわぬ帯小数の減法)	4 (9)	分数の除法(帯分数を帯分数でわる, 繰上りあり)
2 (5)	分数の減法(異分母帯分数の減法, 繰下りあり, 約分なし)	4 (10)	諸等数の除法 (諸等数を(時間)諸等数でわる)
3 (1)	分数の乗法(真分数に整数をかける, 繰上りなし, 約分なし)	4 (11)	小数の除法(帯小数を帯小数でわる, あまりをもとめる)
3 (2)	分数の乗法(真分数に真分数をかける, 繰上りなし, 約分なし)	5 (1)	歩合を百分率になおす
3 (3)	整数の乗法 (三位数に二位数をかける)	5 (2)	括弧の用法 (加減法)
3 (4)	小数の乗法 (帯小数に帯小数をかける, 縦式)	5 (3)	最小公倍数をもとめる
3 (5)	小数の乗法 (帯小数に帯小数をかける, 横式)	5 (4)	比例式をとく(整数)
3 (6)	小数の乗法 (小数に小数をかける)	5 (5)	減乗混合式の計算
3 (7)	整数の乗法 (四位数に四位数をかける)	5 (6)	最大公約数をもとめる
3 (8)	諸等数(時間)の乗法 (諸等数に整数をかける, 繰上る)	5 (7)	百分率を小数になおす
3 (9)	分数の乗法(帯分数に整数をかける, 繰上る, 約分なし)	5 (8)	概算(帯小数の乗法の概算)
3 (10)	分数の乗法 (帯分数に帯分数をかける)	5 (9)	小数と真分数の加法

理解応用問題

問題番号	問題内容	問題番号	問題内容
1	問題解決 (やや複雑な二段階)	14	概 算 (人口の概数を求める)
2	計 量 (日数計算から曜日を求める)	15	計 量 (直方体の体積を求める)
3	問題解決 (減減二段階) (分数)	16	比および数量関係 (百分率を求める)
4	問題解決 (乗法一段階) (分数)	17(イ)	図 表 (折れ線グラフの見方)
5(イ)	図 表 (最も適した図表を選択する, 棒グラフ)	17(ロ)	図 表 (折れ線グラフより平均を求める)
5(ロ)	図 表 (最も適した図表を選択する, 折れ線グラフ)	18	実 務 (元金, 利率, 期間を知って利息を求める)
6	簡単な図形 (四辺形の対角線の数)	19	簡単な図形 (平行四辺形の辺の長さに関する理解)
7(イ)	計 量 (t を kg に換算する)	20	実 務 (定価と割引率を知って売価を求める)
7(ロ)	計 量 (m を尺に換算する)	21	簡単な図形 (直方体の稜の長さについての理解)
8	実 務 (利益の歩合を求める)	22	図 表 (円グラフより百分率をよみとる)
9	図形による表現 (縮尺を与えて縮図の長さを求める)	23	計 量 (船の平均の速さを求める)
10	表 (二次元の表の見方)	24	比及び数量関係 (比についての理解)
11	計 量 (短針と長針の角度を求める)	25	数に関する理解 (小数をかけると, もとの数が小さくなることの理解)
12	図形による表現 (家の平面図より建坪を求める)	26	問題解決 (ある量が全体の何分の1かを知ってもとの量を求める)
13	簡単な図形 (直方体における垂直な面の理解)	27	実 務 (日歩を知って利息を求める)

Ⅱ 中学校 2 年用

計 算 問 題

問題 番号	問 題 内 容	問題 番号	問 題 内 容
1 (1)	整数の加法 (四位数に四位数を加える)	1 (21)	負の数の減法 (負の数から負の数をひく, 答が負の数となる)
1 (2)	小数の乗法 (帯小数に帯小数をかける)	1 (22)	負の数の自乗を求める
1 (3)	分数の加法(同分母帯分数に真分数を加える, 繰上りなし, 約分なし)	1 (23)	負の数の減法 (負の数から負の数をひく, 答が正の数となる)
1 (4)	小数の減法 (末位のそろわぬ帯小数の減法, 横式)	1 (24)	負の数の減法 (負の数から整数をひく, 答が負の数となる)
1 (5)	分数の減法 (異分母真分数の減法, 約分なし)	1 (25)	負の数の減法 (負の数から正の数をひく)
1 (6)	小数の除法 (帯小数を小数でわる, あまりなし)	1 (26)	負の数の乗法
1 (7)	整数の除法 (三位数を二位数でわって小数第二位を四捨五入する)	1 (27)	負の数の減法 (正の数から負の数をひく)
1 (8)	分数の除法 (真分数を真分数でわる, 繰上りなし, 約分なし)	1 (28)	同類項の加法
1 (9)	分数の乗法 (真分数に帯分数をかける, 繰上りなし, 約分なし)	1 (29)	同類項の減法
1 (10)	比例式をとく (整数)	1 (30)	単項式の乗法 (異なる文字の一次式の乗法)
1 (11)	歩合を百分率になおす	1 (31)	単項式の乗法 (同一文字の二次式と一次式の乗法)
1 (12)	諸等数の乗法(時間) (諸等数に整数をかける, 繰上りあり)	1 (32)	単項式の除法 (同一文字の一次式の除法)
1 (13)	諸等数の除法(時間) (諸等数を整数でわる, 繰下りあり)	1 (33)	単項式の減法 (三項式で同類項がつづいていない減法)
1 (14)	正の数の加法 (正の数に正の数を加える)	2	括弧の用法 (括弧の前に整数があるときのとき方)
1 (15)	負数の加法 (正の数に負の数を加える, 答が負の数)	3	式の値 (二元一次式の値を求める)
1 (16)	負の数の加法 (負の数に正の数を加える, 答が負の数)	4 (1)	方程式の解法 (x の係数が 1 の一次方程式)
1 (17)	負の数の加法 (負の数に負の数を加える)	4 (2)	方程式の解法 (x の係数が 1 でない整数の純一次方程式)
1 (18)	負の数の乗法 (負の数に負の数をかける)	4 (3)	方程式の解法 (x の係数が分数の純一次方程式)
1 (19)	負の数の除法 (負の数を負の数でわる)	4 (4)	方程式の解法 (x の係数が -1 の一次方程式)
1 (20)	整数の加減法 (計算の途中で負の数になる)	4 (5)	方程式の解法 (x の係数が 1 でない整数の一次方程式)

理解応用問題

問題番号	問題内容	問題番号	問題内容
1	絶対値の意味の理解	13 (3)	図表 (距離と時間の関係の図表から速さを求める)
2	量を負の数で表現することの理解	14	簡単な図形 (一辺が2倍になった立方体の大きさの理解)
3	計量(温度) (負の温度よりある温度だけ上つた時の温度を求める)	15	式に関する理解 (文字を用いて関係を表現する乗法)
4	数の大小の理解 (負の数を含む)	16	式に関する理解 (文字を用いて関係を表現する加法)
5	問題解決 (正比例)	17 (1)	表 (時刻表の見方, 時刻)
6 (1)	比例関係の理解 (正比例)	17 (2)	表 (時刻表の見方, 料数)
6 (2)	比例関係の理解 (反比例)	18	式に関する理解 (文字を用いて関係を表現する正方形の周)
7	簡単な図形 (相似三角形の対応辺が比例することの理解)	19 (1)	計量 (三角形の面積)
8	計量 (円柱の体積を求める)	19 (2)	計量 (台形の面積)
9	簡単な図形 (合同な三角形をみいだす)	19(3)(4)	計量 (円の面積)
10	座標 (直線の図表より x と y が正比例するものを求める)	19(3)(5)	計量 (円の周)
11	比及び数量関係 (百分率の理解)	20	図表 (度数分布表の見方)
12	実務 (割引率を求める)	21	比及び数量関係 (指数の理解)
13 (1)	図表 (距離と時間の関係の図表から距離をよみとる)	22	図形による表現 (縮尺を求める)
13 (2)	図表 (距離と時間の関係の図表から時間をよみとる)	23	実務 (元金, 利率, 期間を知つて元利合計を求める)

4.4.3 てき上つた問題

でき上つた本テスト問題は、つぎの通りである。

小 学 校

算 数 学 力 検 査

(その1)

一 年 用

な ま え (番) 男 女
うまれた日 昭 和 年 月 日
学 校 小 学 校 年 組
けんさ日 昭 和 年 月 日

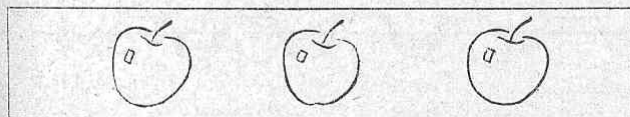
得 点			パーセンタイル	偏 差 値	評 定 段 階
その1	その2	計			

きをつけること

1. いつも せんせいの いう とおりに しなさい。
2. 「ひらけ」と いわないのに ひらいては いけません。
3. 「はじめ」と いってから 「やめ」と いうまで まちがわぬ ように また できるだけ はやく やりなさい。
4. もんだいは ばんごうの じゅんに やりなさい。 むずかしいのは あとに のこして すすみ じかんが あつたら やりなさい。

れんしゅうもんだい

○ かぞえましょう。



こたえ

つ

さんすうの おけいこ その1 (16分)

- ① かぞえましょう。

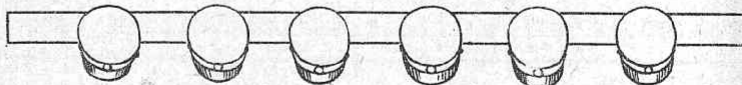


こたえ ひき

- ② はなこさんは おはじきを 4つ もっています。 また 5つ もらいました。みんなで いくつに なったでしょう。

こたえ っ

- ③ まさおさんの ぼうしは むかって ひだりから 3ばんめ です。それに ○ を つけなさい。



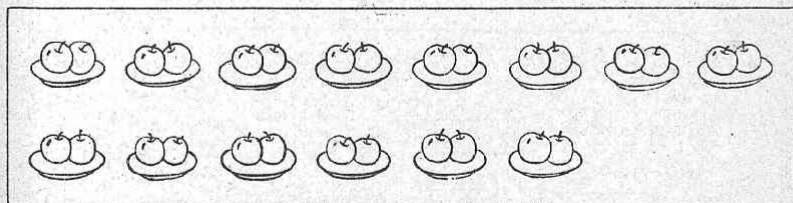
- ④ あきらさんは ことし 13に なりました。 はなこさんは 8つ です としおさんは 11です。
だれが いちばん とうえでしょう。

こたえ

- ⑤ いちばん おおきい かずに ○ を つけなさい。

4 7	3 8	5 0	2 9
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

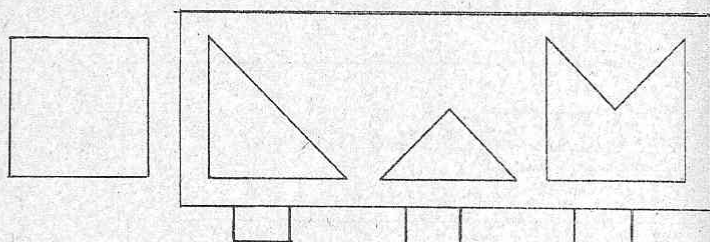
- ⑥ りんごが いづつ あるでしょう。



こたえ

⑦ 1まいの いろがみの はんぶんの はんぶんは どれで
しょう。

○ を つけなさい。



⑧ の なかに ちょうどよい かずを かきいれな
さい。

① 5と3では です。

② 4と6では です。

③ 7と8では です。

④ は 40と 2です。

⑤ 26は 10が つ と 1が つ です。

- ⑨ みかん 6つを 3にんに おなじように わけるには
ひとりに いくつずつ わけたら よいでしょう。

こたえ

つ

- ⑩ のなかに ちょうどよい かずを かきいれな
さい。

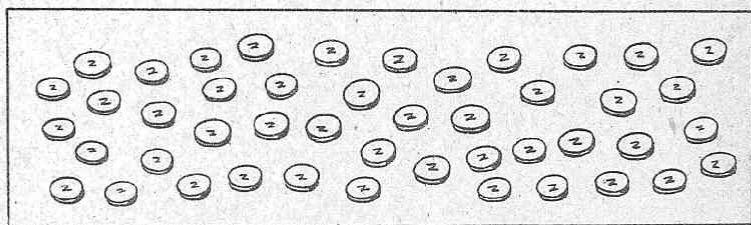
① 12 — 11 — — 9

② 20 — 25 — 30 —

③ 100 — 90 — — 70

④ — 12 — 14 — 16

- ⑪ おはじきが いくつ あるでしょう。



こたえ

つ

- ⑫ えんぴつ 4ほんの 2ばいは なんぼんに なるでしょう。

こたえ

ほん

- ⑬ 16にんで ゆきなげを しました。
оうちの どおい ひどが かえって いました。
のこった ひとは 9にん います。なんにん かえったで
しょう。

こたえ

にん

小 学 校

算 数 学 力 検 査

(その2)

一 年 用

な ま え (番) 男 女

学 校 小 学 校 一 年 組

きをつけること

1. いつも せんせいのいうとおりに しなさい。
2. 「ひらけ」と いわないのに ひらいては いけません。
3. 「はじめ」と いってから 「やめ」というまで まちがわぬ ように また できるだけ はやく やりなさい。
4. もんだいは ばんごうの じゆんに やりなさい。 むずかしいのは あとに のこして すすみ じかんが あったら やりなさい。

れんしゅうもんだい

○ ことば と えを せんで むすびなさい。



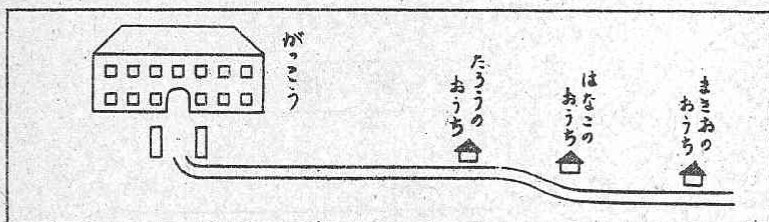
うさぎ

はな

りんご

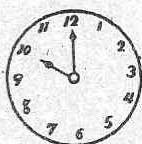
さんすうの おけいこ その2 (16 分)

- ⑭ だれの おうちが がっこうから いちばん とおいで
しょう。○ を つけなさい。



- ⑮ なんじ でしょう。

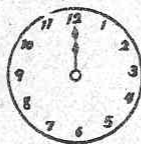
①



こたえ

じ

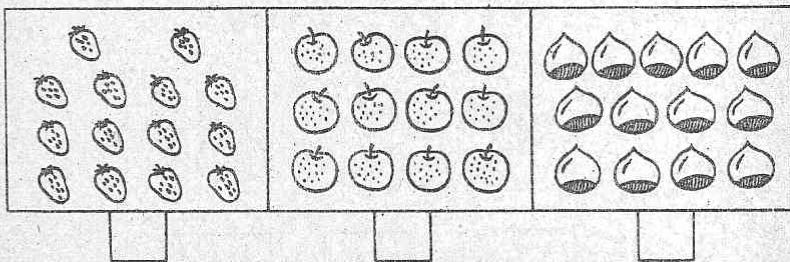
②



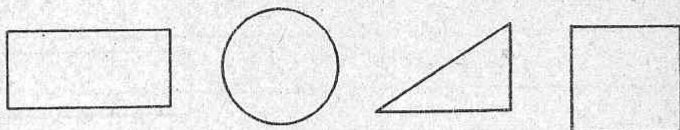
こたえ

じ

- ⑯ いちばん すくないのに ○ を つけましょう。



- ⑪ ことば と かたち を せんで むすびなさい。



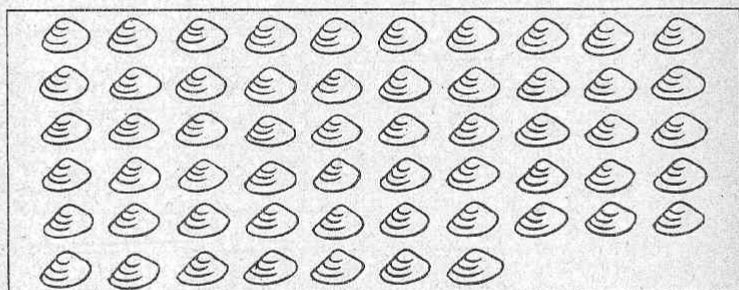
さんかく

ながしかく

ましかく

まる

- ⑫ いくつ あるでしょう。



こたえ

つ

- ⑬ よしおさんは 8えんの ちょうめんと 5えんの けしごむを かいました。

いくら はらったら よいでしょう。

こたえ

えん

②0 まさおさんは あさひに むかっています。

うしろの ほうを なんと いいますか。

こたえ

②1 5にんで わなげあそびを しました。

はいつたときは ○ はずれたときは × を かきました。

だれが いちばん かったでしょう。

あ き ら	○	×	×	×	○	○	×	×	○	×
か ず こ	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○
よ し お	○	○	×	○	×	○	○	○	×	○
ゆ き え	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○
ま さ お	×	○	○	×	×	×	○	×	○	○

こたえ

②2 まことさんは 1ぼん 5えんの えんぴつを 3ぼん

かいました。

いくら はらえば よいでしょう。

こたえ

 えん

- ②③ したの かずを おおきい ほうから じゅんに かきなさい。

78, 74, 81,

こたえ

, ,

- ②④ おかねは みんなで いくらでしょう。

い

10えん 1えん 1えん

こたえ

えん

ろ

10えん 10えん 10えん 10えん
5えん 5えん 5えん
1えん 1えん 1えん

こたえ

えん

- ②⑤ のなかに ちょうど よい かずを かきいれ
なさい。

① 7つは     と っ です。

② 5は と 3 です。

③ 15は 7と です。

④ 9は 4と です。

⑤ 38は と 8 です。

- ②⑥ いろがみ 53まいを 10まいずつ たばに すると
いくたば できて なんまい のこるでしょう。

こたえ たば と まい

小 学 校

算 数 学 力 検 査

(その1)

二 年 用

な ま え (番) 男 女
 うまれた日 昭 和 年 月 日
 学 校 小学校 年 組
 けんさ日 昭 和 年 月 日

得 点			パーセンタイル	偏 差 値	評 定 段 階
その1	その2	計			

きをつけること

1. いつも せんせいのいうとおりにしなさい。
2. 「ひらけ」といわないのに ひらいては いけません。
3. 「はじめ」といってから「やめ」というまで まちかたの ように また できるだけ はやく やりなさい。
4. もんだいは ばんごうの じゅんに やりなさい。 むずかしいのは あとに のこして すすみ じかんが あったら やりなさい。
5. けいさんは あいている ところで してもよい。

れんしゅうもんだい

○ おかねは みんなで いくらでしょう。

1えん	1えん	1えん
-----	-----	-----

こたえ

えん

さんすうの おけいこ その1 (22 分)

①

の なかに こたえを かきなさい。

㉑ $9 + 8 =$

㉒ $8 + 47 =$

㉓ $37 + 42 =$

㉔
$$\begin{array}{r} 24 \\ + 76 \\ \hline \end{array}$$

㉕
$$\begin{array}{r} 35 \\ + 89 \\ \hline \end{array}$$

㉖
$$\begin{array}{r} 27 \\ 49 \\ + 19 \\ \hline \end{array}$$

㉗ $57 + 5 - 3 =$

- ② まさおさんは 50えん ちょきん しています。きょう
また 30えん ちょきんしました。
ちょきんは、いくらに なったでしょう。

こたえ

えん

③

人 ず う						
	○		○			
	○	○	○			
	○		○			
た う げ つ	一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月

まさおさんの くみの 人
で 四月に うまれた人は
6人 です。
ぐらふに かきいれなさい。

④

おとうさんは 41さい おかあさんは 36さい です。
おとうさんは おかあさんより いくつ おおいでしょう。

こたえ

つ

⑤

おかねは みんなで いくらでしょう。

①

5えん 5えん 5えん 5えん 5えん 5えん 5えん
5えん 5えん 5えん 5えん 5えん 5えん 5えん
5えん

こたえ

えん

②

100えん 10えん 5えん 1えん
100えん 10えん 5えん 1えん
100えん 10えん 5えん

こたえ

えん

- ⑥ きゃらめるが 12 あります。ひとりに 2つずつ
わけると なん^{にん}に わけられるでしょう。

こたえ

人

- ⑦ 10^{がつ}10^{にち} は 米^{こめ}よう^び です。 10^{がつ}15^{にち} は
なん^{なん}よう^び でしょう。

こたえ

よう^び

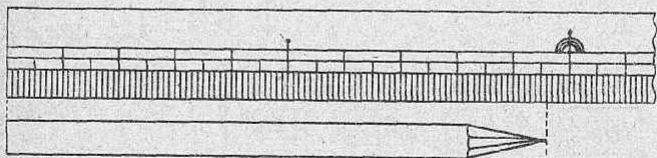
- ⑧ のなかに ちょうどよい しるしを かきいれ
なさい。

79



3 = 82

- ⑨ この えんぴつの ながさは どれだけでしょう。



こたえ

cm

mm

- ⑩ すうじで かきなさい。

四百十五

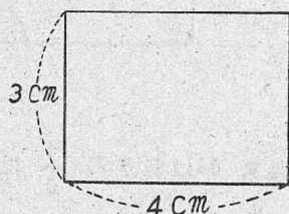
こたえ

- ⑪ ごぜん10じ から ごご2じ まで なんじかん あるでしょう。

こたえ

 じかん

- ⑫

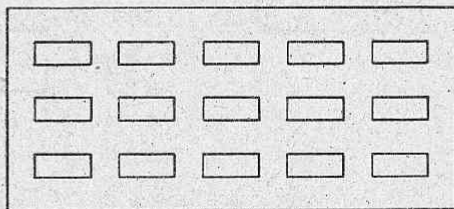


たての ながさは なんcm でしょう。

こたえ

 cm

- ⑬



あきさんの ずがは したのだんの むかって みぎから 2ばんめ です。

それに ○ を つけなさい。

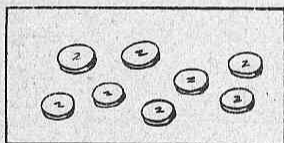
- ⑭ 30えんの 2ばいは いくらでしょう。

こたえ えん

- ⑮ あきらはさんは 78えんの ^{ほん}本と 8えんの えんぴつを
かって 100えんさつを だしました。
おつりは いくらに なるでしょう。

こたえ えん

- ⑯



ここにある おはじきの $\frac{1}{4}$ は
いくつでしょう。

こたえ つ

小 学 校

算 数 学 力 検 査

(その2)

二 年 用

な ま え (番) 男 女

学 校 小 学 校 年 組

きをつけること

1. いつも せんせいのいうとおりにしなさい。
2. 「ひらけ」といわないのに ひらいては いけません。
3. 「はじめ」といってから「やめ」というまで まちがわぬように またできるだけ はやく やりなさい。
4. もんだいは ばんごうの じゆんに やりなさい。 むすかしいのは あとにのこして すすみ じかんが あったら やりなさい。
5. けいさんは あいている ところで してもよい。

れんしゅうもんだい

○ ことば と えを せんで むすびなさい。



うさぎ

はな

りんご

さんすうの おけいこ その2 (22 分)

⑪ の なかに こたえを かきなさい。

① $16 - 8 =$

②
$$\begin{array}{r} 43 \\ - 4 \\ \hline \end{array}$$

③ $78 - 52 =$

④
$$\begin{array}{r} 64 \\ - 49 \\ \hline \end{array}$$

⑤
$$\begin{array}{r} 100 \\ - 38 \\ \hline \end{array}$$

⑥
$$\begin{array}{r} 32 \\ - \square\square \\ \hline 6 \end{array}$$

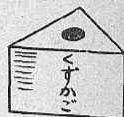
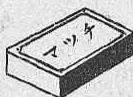
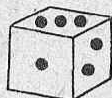
⑦ $\square - 3 = 5$

⑧ まさおさんの くみは おとこが 26^{にん} おんなが 28^{にん} です。
なん^{にん}の くみでしょう。

こたえ

^{にん}人

- ①⑨ 上から みた かたちと したの ことばを せんで
むすびなさい。



ましかく

さんかく

まる

ながしかく

②⑩

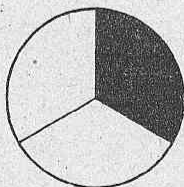
日	よう日	やすんだ 人すう
1	月	2
2	火	4
3	水	5
4	木	2
5	金	3
6	土	1

いちばん おおく やすんだのは な
んよう日 でしょう。

こたえ

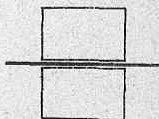
よう日

②⑪



くろい ところは なんぶんの一 で
しょう。

こたえ



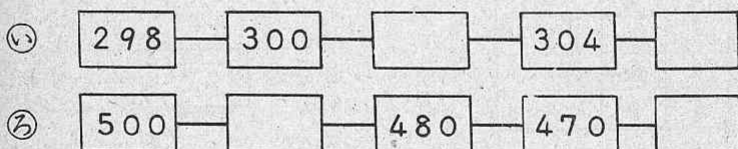
- ②② おかあさんが おだんごを 17 つくりました。みんな
で 30 つくるのだそうです。もう いくつ つくれば
よいでしょう。

こたえ

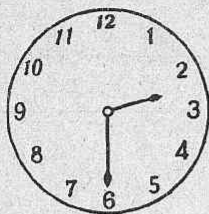
つ

- ②③ 214は 100が つ と 10が つ と 1
が つ です。

- ②④ のなかに ちょうどよい すうを かきいれなさい



- ②⑤ なんじ なんぶん でしょう。



こたえ

じ ぶん

- ②⑥ みかんが 11 あります。ひとりに 2 つずつ 4 ^{にん}にわけてやりました。いくつ のこっているでしょう。

こたえ

つ

- ②⑦ のなかに ちょうど よい すうを かきいれなさい。

① 1 ^{ねん}年 =

^{がつ}か月

② 1 m 2 0 cm =

cm

- ②⑧ 3月3日は おせっくです。3月25日まで
あと なん日 あるでしょう。

こたえ

にち
日

- ②⑨ としおさんは ひがしに むかっています。としおさんの
みぎてのほうを なんと いいですか。

こたえ

- ③⑩ まさおさんは 15えんの ちょうめんを 1きつと 6
えんの えんぴつを 3本 かいました。
いくら はらえば よいでしょう。

こたえ

えん

小 学 校

算 数 学 力 検 査

(計 算)

三 年 用

な ま え (番) 男 女

う ま れ た 日 昭 和 年 月 日

学 校 小 学 校 年 組

け ん さ 日 昭 和 年 月 日

得 点					パーセンタイル	偏差値	評定段階
I	II	III	IV	計			

ち ゅ う い

1. いつも せんせいの いう とおりに してください。
2. 「ひらけ」 と いわないのに ひらいてはいけません。
3. 「はじめ」 と いってから「やめ」というまで せいかくに しかも できるだけはやく やりなさい。
4. もんだいは ばんごうのじゅんにしなさい。しかし むずかしいのはあとにのこしてすみ じかんがあつたら あとでしなさい。
5. けいさんは かみのあいているところ または べつのけいさんようしでやってもよい。
6. 「やめ」 . といったら とちゅうでもやめなさい。

I よ ぜ ざ ん (6 分)

正 答 数

(1) $5 + 8 =$

(2) $52 + 36 =$

(3)
$$\begin{array}{r} 65 \\ + 35 \\ \hline \end{array}$$

(4)
$$\begin{array}{r} 544 \\ + 187 \\ \hline \end{array}$$

(5)
$$\begin{array}{r} 309 \\ + 98 \\ \hline \end{array}$$

(6) $78 + 4 =$

(7) $64 + 57 =$

(8) $300 + 43 + 6 =$

(9)
$$\begin{array}{r} 2578 \\ + 1869 \\ \hline \end{array}$$

(10)
$$\begin{array}{r} 148 \\ 81 \\ 195 \\ + 68 \\ \hline \end{array}$$

(11) $3\text{時}20\text{分} + 2\text{時}10\text{分} =$ 時 分

(12) $6.5\text{cm} + 2.4\text{cm} =$ cm

Ⅱ ひきざん (6 分)

正 答 数

(1) $57 - 9 = \boxed{}$

(2)

$$\begin{array}{r} 974 \\ - 521 \\ \hline \end{array}$$

$\boxed{}$

(3) $73 - 46 = \boxed{}$

(4)

$$\begin{array}{r} 126 \\ - 38 \\ \hline \end{array}$$

$\boxed{}$

(5)
$$\begin{array}{r} 621 \\ - 382 \\ \hline \end{array}$$

$\boxed{}$

(6)

$$\begin{array}{r} 510 \\ - 307 \\ \hline \end{array}$$

$\boxed{}$

(7)
$$\begin{array}{r} 2735 \\ - 1987 \\ \hline \end{array}$$

$\boxed{}$

(8)

$$\begin{array}{r} 200 \\ - 66 \\ \hline \end{array}$$

$\boxed{}$

(9) $864 - 237 - 49 = \boxed{}$

(10)

$$\begin{array}{r} 1000 \\ - 128 \\ \hline \end{array}$$

$\boxed{}$

(11) $6 \text{ 時 } 40 \text{ 分} - 3 \text{ 時 } 20 \text{ 分} = \boxed{} \text{ 時 } \boxed{} \text{ 分}$

(12) $2.8\text{ℓ} - 1.6\text{ℓ} = \boxed{} \text{ ℓ}$

III かけざん と わりざん (10分)

正 答 数

(1)

$$5 \times 1 = \boxed{}$$

(2)

$$9 \times 8 = \boxed{}$$

(3)

$$\begin{array}{r} 7 \\ \times 7 \\ \hline \boxed{} \end{array}$$

(4) 5 が いくつで40になるでしょう。

(5) 8 が 4つでは いくつになるでしょう。

(6) 7 を なんばい すれば 35になるでしょう。

はい

(7)

$$21 \div 7 = \boxed{}$$

(8)

$$6 \times 0 = \boxed{}$$

(9) 3 の 2ばいは いくつになるでしょう。

(10) 42は6の なんばいになるでしょう。

はい

(11) $0 \div 4 =$

(12) 50 は 10 の なんばいになるでしょう。 はい

(13) $45 \div 9 =$

(14) $64m$ は $8m$ の なんばいになるでしょう。 はい

(15) $9 \div 9 =$

(16) $1000 \times 4 =$

(17)
$$\begin{array}{r} 10 \\ \times 10 \\ \hline \end{array}$$

(18) 12 の 3 ばいは いくつになるでしょう。

(19) 15 の 4 ばいは いくつになるでしょう。

(20) 24 円は 2 円の なんばいになるでしょう。 はい

IV そ の 他 (4分)

正 答 数

- (1) つぎの のなかへ ちょうどよい しるしや すう
を いれなさい。

(イ) $- 7 = 2$

(ロ) 7 $4 = 28$

(ハ) $54 \div$ $= 6$

(ニ) $6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 = 6 \times$

(ホ) $\frac{1}{5}$ が 3 つでは なんぶんのいくつになるでしょう。 $\frac{\text{}}{\text{}}$

(2)

$$\begin{array}{r} 385 \\ - 278 \\ \hline 107 \end{array}$$

この ひきさんのこたえが ^正 正しいか どう
か しらべるとき どうすればよいでしょう。
したの (イ) (ロ) (ハ) (ニ) のなかで ^正 正しい ものに ○ を
つけなさい。

(イ)
$$\begin{array}{r} 385 \\ + 278 \\ \hline \end{array}$$

(ロ)
$$\begin{array}{r} 278 \\ + 107 \\ \hline \end{array}$$

(ハ)
$$\begin{array}{r} 278 \\ - 107 \\ \hline \end{array}$$

(ニ)
$$\begin{array}{r} 385 \\ + 107 \\ \hline \end{array}$$

小 学 校

算 数 学 力 検 査

(理解応用) その1

三 年 用

な ま え	(番)	男 女
うまれた日	昭 和 年 月 日	
学 校	小学校 年 組	
けんさ日	昭 和 年 月 日	

得 点	パーセンタイル	偏 差 値	評 定 段 階

ちゅうい

1. いつも せんせいのいうとおりに してください。
2. 「ひらけ」といわないのに ひらいてはいけません。
3. 「はじめ」といつてから「やめ」というまで せいかくに しかも できるだけはやくや
りなさい。
4. もんだいは ばんごうじゅんにしなさい。しかし むすかしいのはあとにのこしてすすみ
じかんがあつたら あとでしなさい。
5. けいさんは かみのあいているところ または べつのけいさんようしでやつてもよい。
6. 「やめ」といつたら とちゅうでもやめなさい。

理解応用 その1 (15分)

正 答 数

- (1) はな子さんは おばさんから えんぴつを 12本もらいました。
にいさんに 6本わけて やりました。あと なん本のこっているでしょう。

こたえ 本

- (2) いとうさんの いえ から やまもとさんの いえまで なんメートル あるでしょう。



こたえ m

- (3) 1人に 2dl ずつ ミルクを くばると 8人では どれだけ いるでしょう。

こたえ dl

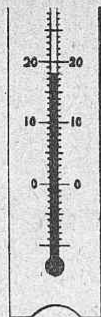
- (4) けっせきしらべ

月 日	よう日	けっせきしたにんざう
1 18	月	2
1 19	火	0
1 20	水	3
1 21	木	1
1 22	金	2
1 23	土	3

これは まさおさんの くみのけっせきしらべの表です。けっせきした人数は みんなでなん人になるでしょう。

こたえ 人

(5)



この かんたんけい を ごらんさい。

なん度でしょう。

こたえ

度

(6) 100円さつが3枚 10円さつが4枚 1円さつが5枚あります。

みんなで なん円でしょう。

こたえ

円

(7) 北をむいて たつと 右手の方向は なんでしょう。つぎのうち

正しい 答を○でかこみなさい。

ひがし にし みんみ きた
東 西 南 北

(8) つぎの の なかに 正しい すう を いれなさい。

(1) 1日 =

時間

(2) 3円80銭 =

円

- (9) いさむさんは あさ7時50分に うちをでて 8時15分に 学校
につきました。

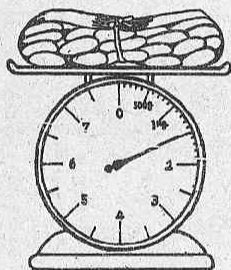
うちから 学校まで なん分 かかったでしょう。

こたえ 分

- (10) 30円の $\frac{1}{3}$ は なん円 でしょう。

こたえ 円

(11)



つぎの はかりは なんキログラムと
なんグラム を さしているでしょう。

こたえ kgと g

小 学 校

算 数 学 力 検 査

(理解応用) その2

三 年 用

な ま え 番) 男 女

学 校 小 学 校

ち ゅ う い

1. いつも せんせいのいうとおりに してください。
2. 「ひらけ」といわないのに ひらいてはいけません。
3. 「はじめ」といってから「やめ」というまで せいかくに しかも できるだけはやくやりなさい。
4. もんだいは ばんごうじゅんにしなさい。しかし むずかしいのはあとにのこしてすみじかんがあつたら あとでしなさい。
5. けいさんは かみのあいているところ または べつのけいさんようしてやつてもよい。
6. 「やめ」といったら とちゅうでもやめなさい。

理解応用 その2 (15分)

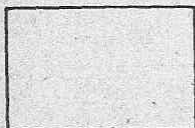
正答数

- (12) はな子さんの うちの にわとりが たまごを きょう13こ
きょう15こ うみました。それを うちで8こ たべました。
いくつ のこっているでしょう。

こたえ

こ

(13)



この ながしかく には 直角がいくつ
あるでしょう。

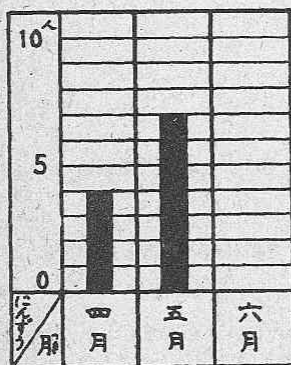
こたえ

つ

- (14) おかあさん から かきを 12 いただきました。きょうだい 4人
で おなじに わけると 1人は いくつもらえるでしょう。

こたえ

(15)



あきらさんは 組の人の たんじょう日
をしらべました。これを ぼうグラフに
かきたいと 思います。

6月うまれの人は 6人です。この表にか
きこみなさい。

- (16) はな^{はな}さんは 1さつ10^{じゅう}円の ちょうめん 3さつと 5^ご円のけしごむを 1こかって 50^{ごじゅう}円さつ を だしました。おつりを いくらもらったらよいでしょう。

こたえ 円

- (17) あきらさんは 100^{ひゃく}円ち^ちきん したいと おもっています。 もう 30^{さんじゅう}円ち^ちきん すると 100^{ひゃく}円になります。いま ち^ちきんは いくらあるでしょう。

こたえ 円

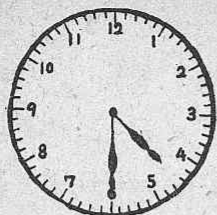
- 18 10^{じゅう}月21^{にじゅういち}日は 日^{にち}よう日^{にち}であるとすれば つぎの日^{にち}よう日^{にち}は なん月なん日^{にち}でしょう。

こたえ 月 日

- (19) 身長^{しんちやう}を はかるのに つぎの うち、どれを もちいたら よいでしょう。

km cm mm こたえ

(20)

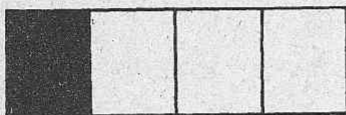


この時計は なん時^じなん分^{ぶん}を さしてい
ますか。

こたえ

時 分

(21) 下の くろくぬったところの 大きさは ぜんたいの 大きさのな
んぶんの なんになるでしょう。



こたえ

(22) まさおさんは 円の丸^{まる}のはたをつくるのに 直径^{ちようけい} 10cmの円^{えん}を か
こうとしています。半径^{はんけい}を なんセンチメートルに したらよいで
しょう。

こたえ

cm

(23)

4人^{にん}で バスにのりました。バス代^{ばすだい}は1人5円^{ごえん}で
す。いくら はらえば よいでしょう。

このもんだいは どのように かんがえて 式^{しき}をかいたらよいで
しょう。つぎの()に()のなかで たいしい ものに ○をつけ
なさい。

- ㊶ 4人^{にん}に 5円^{ごえん}を かければ 20円^{にん}になる $4 \times 5 = 20$
 ㊷ 5円^{ごえん}を 4ばい すれば 20円^{にん}になる $5 \times 4 = 20$
 ㊸ 20円^{ごえん}を 4人^{にん}にわけると 5円^{ごえん}になる $20 \div 4 = 5$
 ㊹ 20円^{ごえん}を 5円^{ごえん}でわると 4つにわけられる $20 \div 5 = 4$

新潟県教育研究所編

中 学 校

数 学 学 力 検 査

(計 算)

一 年 用

姓 名	(番)	男 女
生 年 月 日	昭 和 年 月 日	
学 校	中 学 校 年 組	
検査年月日	昭 和 年 月 日	

注 意

1. いつも 先生のいうとおりに してください。
2. 「開け」といわないのに 開いてはいけません。
3. 「始め」といつてから「止め」というまで 正確に しかもできるだけ速く やりなさい。
4. 問題は 番号の順に しなさい。しかし むずかしいのは後に残して進み 時間があつたら あとでしなさい。
5. 計算は紙のあいていところ または 別の計算用紙でしなさい。
6. 「止め」といつたら とちゅうでも 止めなさい。

計 算 (45分)

正 答 数

(1) (1)

$$\begin{array}{r} 5859 \\ + 4375 \\ \hline \end{array}$$

(2)

$$\frac{5}{9} + \frac{2}{9} = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$$

(3)

$$\begin{array}{r} 5237 \\ 1364 \\ 2909 \\ + 4283 \\ \hline \end{array}$$

(4)

$$\begin{array}{r} 1\text{時}53\text{分}32\text{秒} \\ + \quad 19\quad 47 \\ \hline \end{array}$$

時 分 秒

(5)

$$4\frac{1}{7} + 2\frac{3}{4} = \boxed{}\frac{\boxed{}}{\boxed{}}$$

(2) (1)

$$\frac{1}{3} - \frac{1}{5} = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$$

(2)

$$4691 - 253 - 49 = \boxed{}$$

(3)

$$\begin{array}{r} 8002 \\ - 6987 \\ \hline \end{array}$$

(4)

$$23.8 - 7.24 = \boxed{}$$

(5) $5\frac{1}{6} - 2\frac{3}{5} = \boxed{} \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$

(3) (1) $\frac{3}{11} \times 3 = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$

(2) $\frac{2}{3} \times \frac{4}{5} = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$

(3)
$$\begin{array}{r} 267 \\ \times 97 \\ \hline \end{array}$$

 $\boxed{}$

(4)
$$\begin{array}{r} 3.2 \\ \times 1.2 \\ \hline \end{array}$$

 $\boxed{}$

(5) $1.4 \times 0.5 = \boxed{}$

(6)
$$\begin{array}{r} 0.017 \\ \times 0.23 \\ \hline \end{array}$$

 $\boxed{}$

(7)
$$\begin{array}{r} 4305 \\ \times 3108 \\ \hline \end{array}$$

 $\boxed{}$

(8)
$$\begin{array}{r} 2\text{時} \quad 18\text{分} \\ \times \quad \quad 4 \\ \hline \end{array}$$

 $\boxed{} \text{時} \quad \boxed{} \text{分}$

(9)

$$3\frac{5}{7} \times 5 = \frac{\boxed{}}{\boxed{}} \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$$

(10)

$$3\frac{3}{4} \times 2\frac{3}{5} = \frac{\boxed{}}{\boxed{}} \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$$

(4) (1)

$$\begin{array}{r} \boxed{} \dots \boxed{} \\ 78 \overline{) 3978} \end{array}$$

(2)

$$\frac{6}{7} \div 5 = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$$

(3)

$$\begin{array}{r} \boxed{} \dots \boxed{} \\ 263 \overline{) 28404} \end{array}$$

(4)

$$\frac{1}{4} \div \frac{2}{7} = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$$

(5)

$$2\frac{2}{5} \div 4 = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$$

(6)

$$5.84 \div 0.008 = \boxed{}$$

(7) 小数第二位を四捨五入しなさい。

$$\begin{array}{r} \boxed{} \\ 0.46 \overline{) 0.215} \end{array}$$

(8)

時	分
---	---

$$4 \overline{) 7 \text{ 時 } 32 \text{ 分}}$$

(9) $2\frac{1}{7} \div 1\frac{1}{3} = \square \frac{\square}{\square}$

(10) $15 \text{ 分 } 31 \text{ 秒} \div 2 \text{ 分 } 13 \text{ 秒} = \square$

(11) 小数第一位までだしてあまりがあったらだしなさい。

$$\square \dots \square$$

$$2.6 \overline{) 7.31}$$

(5) (1) 2割8分を百分率になおしなさい。

答

--

 %

(2) $83 - (19 + 24) = \square$

(3) 最小公倍数をもとめなさい。

(4, 5) 答

--

(4) $8 : 24 = 1 : \boxed{}$

(5) $90 - 12 \times 5 = \boxed{}$

(6) 最大公約数をもとめなさい。

(14, 21) 答 $\boxed{}$

(7) 37% を小数であらわしなさい。

答 $\boxed{}$

(8) 次の式を概算しその答に最も近い括弧の中の数を ○でかきこみなさい。

5.0319×24.567
(1250, 150, 120, 12)

(9) $0.4 + \frac{1}{6} = \boxed{}$

新潟県教育研究所編

中 学 校

数 学 学 力 検 査

(理 解 応 用)

一 年 用

姓 名	(番)	男 女
生 年 月 日	昭 和 年 月 日	
学 校	中 学 校 年 組	
検査年月日	昭 和 年 月 日	

注 意

1. いつも 先生のいうとおりに してください。
2. 「開け」といわないのに 開いてはいけません。
3. 「始め」といつてから「止め」というまで 正確に しかもできるだけ速く やりなさい。
4. 問題は 番号の順に しなさい。しかし、むずかしいのは後に残して進み 時間があつたら あとでしなさい。
5. 計算は紙のあいていところ または、別の計算用紙でしなさい。
6. 「止め」といつたら とちゅうでも 止めなさい。

理解応用

(50分)

正答数

- (1) 春子さんは店で1と12円の卵5こと20円の右けん1こを買って100円札をだしました。おつりをいくらもらえばよいか。

答

円

- (2) 1月27日が日曜日であるとすれば2月20日は何曜日になりますか。

答

曜日

- (3) 正男君は兄さんと畑を耕しました。正男君は全体の $\frac{2}{5}$ のこりを兄さんが耕しました。兄さんは全体の何分のいくつ耕しましたか。

答

- (4) 50坪の畑がある。この畑のうち $\frac{3}{5}$ は草花が植えてあります。草花の植えてあるのは何坪ですか。

答

坪

- (5) 「新潟縣の米のとれ高」について (イ) 回をグラフにあらわしたいと思います。次のグラフのなかから最もてきとうなものをえらんで の中にかきいれなさい。

棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、正方形グラフ、帯グラフ

- (イ) ある年の「とれ高」を他の府縣とくらべるにはどのグラフであらわしたらよいか。

答

- (ロ) 数年前からの「とれ高」の変化をあらわすにはどのグラフであらわしたらよいか。

答

- (6) 四辺形には対角線が何本ありますか。

答 本

- (7) 次の の中に正しい数をいれなさい。

(イ) $1t =$ kg

(ロ) $1m =$ 尺 寸

- (8) 原価 100 円の品物を 20 円もうけてうると何割の利益になりますか。

答 割

- (9) $\frac{1}{100}$ の平面図をかくには1mの長さを何センチメートルにすればよいか。

答 cm

- (10) 国有鉄道小荷物運賃表

目方 きより	100km まで	250km まで	500km まで	750km まで	1000km まで	1000km 以上500km ますごとに
10kg まで	65円	85円	105円	125円	145円	40円 まし
15kg まで	90円	120円	145円	175円	200円	55円 まし
20kg まで	115円	150円	185円	220円	255円	70円 まし

くらかかりますか。

新潟上野間の鉄道

料数は331kmです。

正男君が目方12kg

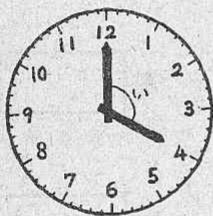
の小荷物を新潟駅

から上野駅まで送

るに鉄道運賃はい

答 円

- (11)

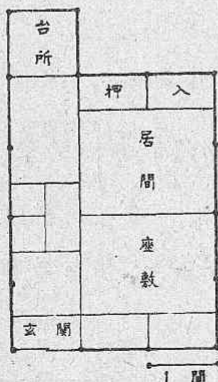


時計が4時のとき長針と短針とのなす角

「い」は何度ですか。

答 度

- (12)

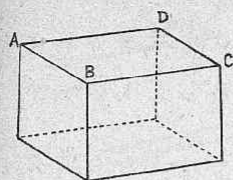


この図は家の平面図です。

この家の建坪は何坪ですか。

答 坪

(13)



右の図は直方体です。

ABCDの面に垂直な面はいくつありますか。

答

- (14) 昭和25年10月1日現在の我が国の人口は83199637人でした。これは約何千何百万人といいか。

答

千 百万人

- (15) たて10 cm よこ20 cm たかさ8 cm の直方体の体積は何 cm^3 ですか。

答

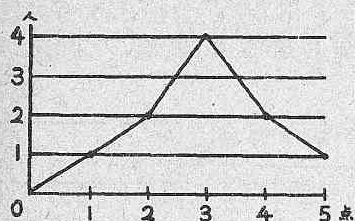
cm^3

- (16) 正男君の組は50人です。そのうち4人欠席しました。欠席した生徒は全体の何パーセントにあたりますか。

答

%

(17)



このグラフは小林君の班の数学の成績をあらわしたものです。

- (イ) 小林君の班では4点の人は何人ですか。

答

 人

- (ロ) 班の平均点は何点ですか。

答

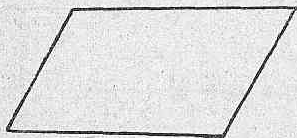
 点

- (18) 1000円を年利率5分で1年間あずけたら利息はいくらになりますか。

答

 円

(19)



まわりが30 cmの平行四辺形の一辺が9 cmならそのとなりの辺は何 cmですか

答

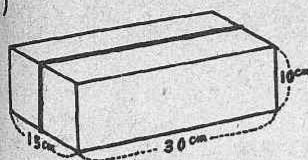
 cm

- (20) 定価50円の品物に1割引きの札がついていました。この品物の売価はいくらですか。

答

 円

(21)

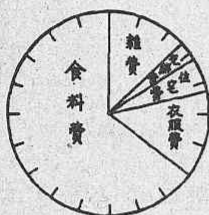


この図のような荷物を図のように紐でしばるのに、ひすび目に必要な長さを10 cmとみて、紐の長さは何 cm 必要ですか。

答

cm

(22)



このグラフはある家のある月の支出をあらわしたものです。

食料費は全体の何パーセントですか。

答

%

(23)

33 哩を3時間でいく船の速さは平均して何ノットですか。

答

ノット

(24)

正君の学級の生徒は49人で男子と女子の人数の割合は4:3です。男子は何人ですか。

答

人

- (25) 0より大きいある数に0.7をかけるとその答はもとの数とくらべてどうなるでしょう。

次の(イ)(ロ)(ハ)のうち正しいものを○でかこみなさい。

- 答 { (イ) もとの数より大きくなる。
(ロ) もとの数に等しい。
(ハ) もとの数より小さくなる。

- (26) 家の建坪は敷地の $\frac{1}{3}$ にあたるようにしたい。

建坪20坪の家をつくるには何坪の敷地がいりますか。

答

坪

- (27) 日歩4銭で5000円を20日間かりたら利息はいくらですか。

答

円

新潟県教育研究所編

中 学 校

数 学 学 力 検 査

(計 算)

二 年 用

姓 名 (番) 男 女

生 年 月 日 昭 和 年 月 日

学 校 中 学 校 年 組

検査年月日 昭 和 年 月 日

得 点	パーセンタイル	偏 差 値	評 定 段 階

注 意

1. いつも 先生のいうとおりに してください。
2. 「開け」といわないのに 開いてはいけません。
3. 「始め」といつてから「止め」というまで 正確に しかもできるだけ速くやりなさい。
4. 問題は 番号の順にしない。しかし むずかしいのはあとに残して進み 時間があつたら あとでしない。
5. 計算は紙のあいているところ または 別の計算用紙でしない。
6. 「止め」といつたら どちらうでも 止めなさい。

計

算

(45分)

正答数

(1) 次の計算をなさい。

$$\begin{array}{r} 3947 \\ + 7885 \\ \hline \square \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 2.3 \\ \times 3.1 \\ \hline \square \end{array}$$

$$(3) \quad 4\frac{2}{7} + \frac{3}{7} = \square \frac{\square}{\square}$$

$$(4) \quad 34.5 - 2.34 = \square$$

$$(5) \quad \frac{2}{3} - \frac{1}{2} = \frac{\square}{\square}$$

$$(6) \quad \frac{\square}{0.42} \overline{) 15.54}$$

(7) 小数第二位を四捨五入しなさい。

$$\begin{array}{r} \square \\ 23 \overline{) 342} \end{array}$$

$$(8) \quad \frac{1}{6} \div \frac{5}{7} = \frac{\square}{\square}$$

(9)

$$\frac{4}{7} \times 1\frac{1}{3} = \frac{\boxed{}}{\boxed{}}$$

(10)

$$3:2 = 6:\boxed{}$$

(11)

15割を百分率になおすと $\boxed{}\%$ となる。

(12)

$$\begin{array}{r} 2\text{時} 21\text{分} \\ \times 4 \\ \hline \boxed{}\text{時} \boxed{}\text{分} \end{array}$$

(13)

$$\begin{array}{r} \boxed{}\text{時} \boxed{}\text{分} \\ 7 \overline{) 8\text{時} 3\text{分}} \end{array}$$

(14)

$$(+5) + (+4) = \boxed{}$$

(15)

$$(+3) + (-10) = \boxed{}$$

(16)

$$-25 + 5 = \boxed{}$$

(17)

$$(-6) + (-7) = \boxed{}$$

(18) $(-3) \times (-5) = \boxed{}$

(19) $(-20) \div (-4) = \boxed{}$

(20) $2 - 5 + 7 = \boxed{}$

(21) $(-8) - (-5) = \boxed{}$

(22) $(-3)^2 = \boxed{}$

(23) $(-4) - (-6) = \boxed{}$

(24) $-4 - 5 = \boxed{}$

(25) $(-2) - (+6) = \boxed{}$

(26) $(-4) \times (+2) \times (-5) = \boxed{}$

(27) $(+10) - (-5) = \boxed{}$

(28) $2a + 3a = \boxed{}$

(29) $7x - 2x = \boxed{}$

(30) $8a \times 5b = \boxed{}$

(31) $x^2 \times x = \boxed{}$

(32) $2x \div x = \boxed{}$

(33) $5a + 4 - 2a = \boxed{}$

(2) 次の式の括弧をはずしなさい。

$3(a + 2) = \boxed{}$

(3) $a = 4$ $b = -3$ のとき 次の式の値を求めなさい。

$2a + b = \boxed{}$

(4) 次の方程式をときなさい。

(1) $x + 7 = 21$

$x = \boxed{}$

(2) $5x = 30$

$x = \boxed{}$

(3) $\frac{x}{3} = 8$

$x = \boxed{}$

(4) $13 - x = 3$

$x = \boxed{}$

(5) $2x - 4 = 10$

$x = \boxed{}$

新潟県教育研究所編

中 学 校

数 学 学 力 検 査

(理 解 応 用)

二 年 用

姓 名 (番) 男 女

生 年 月 日 昭 和 年 月 日

学 校 中 学 校 年 組

検査年月日 昭 和 年 月 日

得 点	パーセンタイル	偏 差 値	評 定 段 階

注 意

1. いつも 先生のいうとおりに してください。
2. 「開け」といわないのに 開いてはいけません。
3. 「始め」といつてから「止め」というまで 正確に しかもできるだけ速くやりなさい。
4. 問題は 番号の順にしない。しかし むずかしいのはあとに残して進み 時間があつたら あとでしなさい。
5. 計算は紙のあいていところ または 別の計算用紙でしなさい。
6. 「止め」といったら さちゅうでも 止めなさい。

理解応用 (50分)

正答数

- (1) $+2$ と絶対値が等しく符号の反対の数は何ですか。

答

- (2) ある時刻から 10 分後を $+10$ 分とかくとその時刻の 5 分前は 何と表わされますか。

答

分

- (3) 温度が -3° より 5° 上ると何度になりますか。

答

度

- (4) 次の数を大ききの順にならべなさい。

$-5, \quad 3, \quad 0, \quad -2,$

答

- (5) 100 匁 25 匁 の りんごを 300 匁 かいしました。いくらですか。

答 円

- (6) 次のことがらは 正比例するか 反比例するか どちらでもないかを考え 答のうち正しいものを○でかこみなさい。

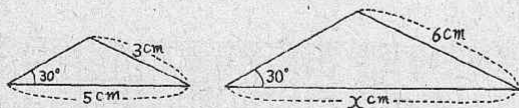
(1) 一本 8 匁 の 鉛筆をかうときの 本数 と ねだん。

答 { (イ) 正比例する。
(ロ) 反比例する。
(ハ) どちらでもない。

(2) 面積が 30 cm^2 の 長方形の たての 長さ と よこの 長さ。

答 { (イ) 正比例する。
(ロ) 反比例する。
(ハ) どちらでもない。

- (7) 次の 三角形は 相似三角形です。xは何 cm ですか。

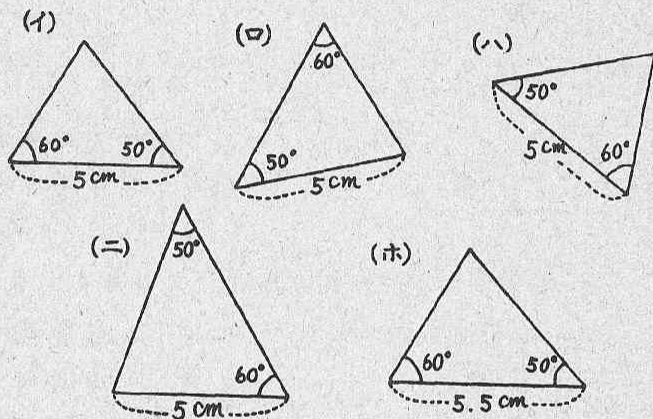


答 cm

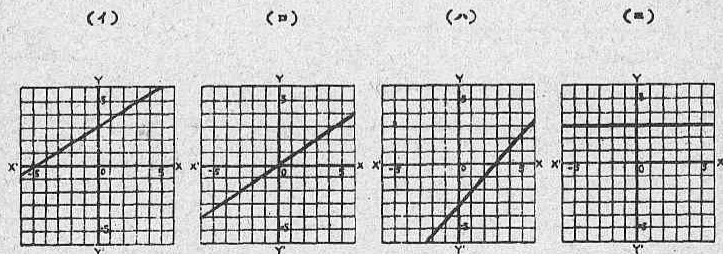
- (8) 底面積が 50 cm^2 で高さが 10 cm の円柱の体積は何 cm^3 ですか。

答 cm^3

- (9) 下の三角形で (イ) と合同のものの文字を \bigcirc でかきなさい。



- (10) 次のグラフは二つの量 x と y との变化の様子を表わしたものです。 x と y が正比例するものの文字を \bigcirc でかきなさい。

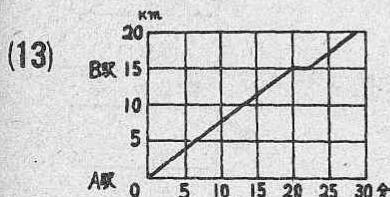


- (11) 小林君は毎月もらうこづかいの30%を貯金することにしています。今月は200円のこづかいをもらいました。いくら貯金したらよいですか。

答 円

- (12) を価100円の品物を90円でかいました。何割引きでかいましたか。

答 割



このグラフはA駅を出発した汽車の走る距離と時間の関係を表わしたものです。

- (1) A, B, 両駅間の距離は何kmですか。

答 km

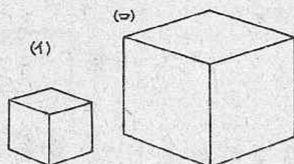
- (2) この汽車はA, B, 両駅間を何分で走りましたか。

答 分

- (3) この汽車はA, B, 両駅間を1時間何kmの速さで走りましたか。

答 km

- (14) 下の図で(ロ)の立方体の一辺は(イ)の立方体の一辺の2倍です。(ロ)の体積は(イ)の体積の何倍ですか。



答 倍

- (15) 1枚5円のはがき x 枚のねだんは何円ですか。

答 円

- (16) a より15大きい数はどう表わされますか。

答

(17)

東京沼津間(下り)				
行先 駅名	列車番号	大阪	小田原	沼津
		123	803	3805
0.0 東京発		5 00	6 36	7 00
1.2 新橋		5 05	6 39	7 05
4.1 品川		5 12	6 46	7 12
26.1 横浜着		5 32	7 06	7 32
43.8 大船		5 34	7 08	7 34
48.4 藤沢		5 53	7 26	7 53
52.1 辻堂		5 59	7 32	8 00
55.9 茅ヶ崎		6 05	7 38	8 06
61.1 平塚		6 10	7 41	8 12
65.1 大磯		6 17	7 48	8 19
70.4 二宮		6 23	7 53	8 25
75.0 国府津		6 30	7 59	8 32
78.1 鴨宮		6 36	8 05	8 38
81.2 小田原着		6 41	8 09	8 43
		6 46	8 14	8 49

左の表は東海道線下り列車時刻表の一部です。この表から次の問題に答えなさい。

- (1) 東京発5時の大阪行にのると何時何分に小田原につきますか。

答 時 分

- (2) 東京小田原間の鉄道杆数は何kmですか。

答 km

- (18) 一辺の長さが a cm の正方形の周は何 cm ですか。

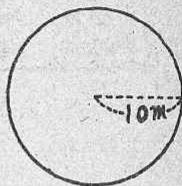
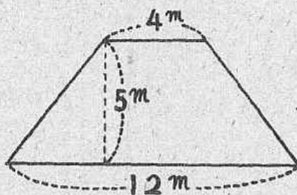
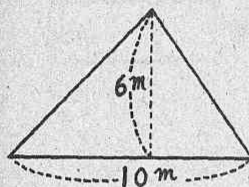
答 cm

- (19) 次の図形について面積や円周を求めなさい。

(1) 三角形

(2) 台形

(3) 円 [円周率を 3.14 とする]



答 面積は

m²

答 面積は

m²

答

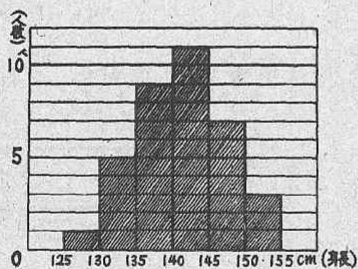
(1) 面積は

m²

(2) 円周は

m

(20)



これは小林君の組の生徒の身長グラフです。

身長が 145 cm 以上の生徒は みんなで何人ですか。

答

人

- (21) 次の表は昭和25年5月における各都市の一人当り平均支出金額を指数で表わしたものです。

都 市	指 数
東京都	100.0
新潟市	79.2
長岡市	80.2
三条市	78.1
高田市	78.3
柏崎市	64.3
新潟市	59.9

このとき一人当り平均支出が東京都で3000円かかるものとするとき新潟市では何円かかりますか。

答 円

- (22) 5mの長さを1cmにかくと何分の1の縮図になりますか。

答 分の1

- (23) 10000円を年利率4%で1年間あすけると元利合計は何円になりますか。

答 円

4.4.4 正 答 表


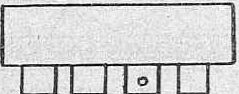
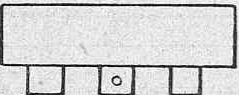

正答表は、つぎのようになる。

第4.8表 正 答 表


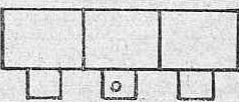
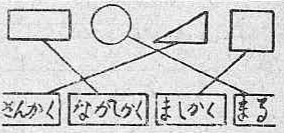
正答は1問1点とし、正答表以外の答は誤りとする。

(イ) 小学校1年(その1. その2. 合計して39点満点)

さんすうのおけいこ その1



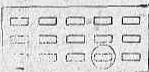
問題	正	答	得点
1		13ひき	1
2		9つ	1
3			1
4		あきら(さん)	1
5			1
6		28	1
7			1
8い		8	1
8ろ		10	1
8は		15	1
8に		42	1
8ほ			1
9		2つ	1
10い		10	1
10ろ		35	1
10は		80	1
10に		10	1
11		46	1
12		8ほん	1
13		7にん	1

さんすうのおけいこ その2

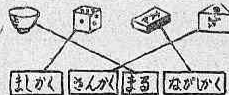





問題	正	答	得点
14		 おま うさ ちお の	1
15い		10じ	1
15ろ		12じ	1
16			1
17			1
18		57	1
19		13えん	1
20		にし	1
21		よしお	1
22		15えん	1
23		18, 78, 74,	1
24い		12えん	1
24ろ		58えん	1
25い		3つ	1
25ろ		2	1
25は		8	1
25に		5	1
25ほ		30	1
26		5たばと3まい	1

(何) 小学校2年(その1. その2. 合計して45点満点)

さんすうのおけいこ その1

問題	正	答	得点
1い	17		1
1ろ	55		1
1は	79		1
1に	100		1
1ほ	124		1
1へ	95		1
1と	59		1
2	80えん		1
3			1
4	5つ		1
5い	75えん		1
5ろ	347えん		1
6	6人		1
7	火曜日		1
8			1
9	9cm 6mm		1
10	415		1
11	4じかん		1
12	3cm		1
13			1
14	60えん		1
15	14えん		1
16	2つ		1


さんすうのおけいこ その2

問題	正	答	得点
17い	8		1
17ろ	39		1
17は	26		1
17に	15		1
17ほ	62		1
17へ	26		1
17と	8		1
18	54人		1
19			1
20	水曜日		1
21	$\frac{1}{3}$		1
22	13		1
23			1
24い			1
24ろ			1
25	2じ30ぶん		1
26	3つ		1
27い	12か月		1
27ろ	120cm		1
28	22日		1
29	みなみ		1
30	33えん		1

(ハ) 小学校3年計算(40点満点)

Ⅰ よせざん			Ⅱ ひきざん			Ⅲ かけざんとわりざん				Ⅳ そ の 他				
問題	正	答	問題	正	答	問題	正	答	問題	正	答	問 題	正	答
1		13	1		48	1		5	11		0	1	(イ)	9
2		88	2		453	2		72	12		5		(ロ)	×
3		100	3		27	3		49	13		5		(ハ)	9
4		731	4		88	4		8	14		8		(ニ)	8
5		407	5		239	5		32	15		1		(ホ)	$\frac{3}{5}$
6		82	6		203	6		5	16		4000	2	(ヘ)	
7		121	7		748	7		3	17		100			
8		349	8		134	8		0	18		36			
9		4447	9		578	9		6	19		60			
10		492	10		872	10		7	20		12			
11		5時30分	11		3時20分									
12		8.9cm	12		1.2ℓ									

理解応用(24点満点)

現 解 応 用 その1				理 解 応 用 その2			
問 題	正	答	得点	問 題	正	答	得点
1		6 本	1	12		20こ	1
2		250m	1	13		4 つ	1
3		16 dl	1	14		3	1
4		11 人	1	15			1
5		18 度	1	16		15 円	1
6		345円	1	17		70 円	1
7		(東)	1	18		10月28日	1
8	(イ)	24時間	1	19		cm	1
	(ロ)	3.80円 (3.8円)	1	20		4時30分	1
9		25 分	1	21		$\frac{1}{4}$	1
10		10 円	1	22		5cm	1
11		1kgと500g	1	23		(ヘ)	1

(二) 中学校1年計算(40点満点)

理解応用(30点満点)

問	題	正	答	問	題	正	答
(1)	1		10234	(4)	1		51
	2		$\frac{7}{9}$		2		$\frac{6}{35}$
	3		13793		3		108
	4		2時13分19秒		4		$\frac{7}{8}$
	5		$6\frac{25}{28}$		5		$\frac{3}{5}$
(2)	1		$\frac{2}{15}$		6		730
	2		4389		7		0.5
	3		1015		8		1時53分
	4		16.56		9		$1\frac{17}{28}$
	5		$2\frac{17}{30}$		10		7
(3)	1		$\frac{9}{11}$		11		$2.8 \cdots 0.03$
	2		$\frac{8}{15}$	(5)	1		28%
	3		25899		2		40
	4		3.84		3		20
	5		0.7		4		3
	6		0.00391		5		30
	7		1337994		6		7
	8		9時12分		7		0.37
	9		$18\frac{4}{7}$		8		120
	10		$9\frac{3}{4}$		9		$\frac{17}{30}$

問	題	正	答
1			20円
2			水曜日
3			$\frac{3}{5}$
4			30坪
5	(イ)		棒グラフ
	(ロ)		折れ線グラフ
6			2本
7	(イ)		1000kg
	(ロ)		3尺3寸
8			2割
9			1cm
10			145円
11			120度
12			13坪
13			4
14			8千3百万人
15			$1600cm^3$
16			8%
17	イ		2人
	ロ		3点
18			50円
19			6cm
20			45円
21			90cm
22			65%
23			11ノット
24			28人
25			㊦
26			60坪
27			40円

(※) 中学校2年計算 (40点満点)

問 題	正 答	問 題	正 答
(1) 1	11832	(1) 21	-3
2	7.13	22	9
3	$4\frac{5}{7}$	23	2
4	32.16	24	-9
5	$\frac{1}{6}$	25	-8
6	37	26	40
7	14.9	27	15
8	$\frac{7}{30}$	28	5a
9	$\frac{16}{21}$	29	5x
10	4	30	40ab
11	150%	31	x^3
12	9時24分	32	2
13	1時9分	33	3a+4
14	9	(2)	3a+6
15	-7	(3)	5
16	-20	(4) 1	14
17	-13	2	6
18	15	3	24
19	5	4	10
20	4	5	7

理解応用 (30点満点)

問 題	正 答
1	-2
2	-5分
3	2度
4	$3, 0, -2, -5,$ 又は $-5, -2, 0, 3,$
5	75円
6	(1) (イ) (2) (ロ)
7	10cm
8	500cm^3
9	(イ)
10	(ロ)
11	60円
12	1割
13	(1) 15km (2) 20分 (3) 45km
14	8倍
15	$5x$ 円
16	$15+a$ 又は $a+15$
17	(1) 6時46分 (2) 81.2km
18	$4a\text{cm}$
19	(1) 30m^2 (2) 45m^2 (3) 314m^2 (4) 62.8m
20	10人
21	2376円
22	$\frac{1}{500}$ 又は 500 分の $\frac{1}{500}$ 又は $1:500$
23	10400円